

山遊会だより

発行所:山遊会
東京都千代田区四番町4-5サンビューハイツ
公益社団法人 日本山岳会内
tel.03-3261-4433 fax.03-3261-4441

30
17年以上経ってしまっただけは、当初の
会員は徐々に退会したり、参加が困難に
なったりで頭数が少なくなり寂しい限り
である。今後は、活動しているメンバー
も徐々に入れ替わり、少数化、固定化が
進んでいる。この先、会の維持がどうす
るか考え、時期が来るので一つの課

定例会予定

2020年	5月28日(木)	6月25日(木)
	7月30日(木)	8月27日(木)
	9月24日(木)	10月22日(木)
	11月26日(木)	12月17日(木)
2021年	1月28日(木)	2月25日(木)
	3月25日(木)	4月22日(木)

⇒ 18:45 より、ルーム104号室にて
(原則毎月第4週木曜日に開催)

☆山遊会ホームページ
<http://www.jac.or.jp/info/doukoukai/sanyukaihp/index.html>

* 巻頭言 *

山遊会に想う

山遊会副代表 大西 攻

まずは、山遊会が30号まで継続
発行できたことを非常にうれしく思う。

私が山遊会に入会した経緯は、新入会
員の同好会説明会時に、初代山遊会代表
の遠山氏より誘われたからである。説明
会後の懇親会会場、遠山氏と地理、無線、
人脈などの会話がなり、少しマニアック
な面白い会に見えた。それに遠山氏は酒
を飲まないこと知って、自身の酒の量を
少しセーブする効果があると考え、直ぐ
に入会することにした。ところが、実際
に入会してみると天酒飲みの会員が多く、
全くの当て外れになる。結局、山行に参
加する度に山で酒を飲むのが当たり前で、
下山後の反省会と称する仕上げの飲み会
が付いていた。でもそれが嫌になんか
むしろ楽しんでる自分がいてあきれた。

題として提案したい。

以前、私は会社の山岳部で活動をして
いた。先輩社員たちは山岳部というより
山を口実に下山後の温泉と酒を楽しむ
仲間であった。その先輩も結婚や仕事
の忙しさなどの理由で参加しなくなり、
当時の若手もあつた私が取り残された。
二度そこへ、新人の後輩達が数名入部し
なをチャンスに、今までの活動を不満
足に思っていた私が先頭に立ち、活動方
針を変えた。沢登り、冬山、ロッククラ
イミングなど通常の山岳部で行う当たり
前の活動であるが、大きな方針変更であ
った。また都岳連にも加盟し、外部とのか
わりが持てるようになり、さらに活動
幅が広がり、部員数も増え海外の登山
にも行くことができた。

今の山遊会もメンバーの入れ替わりが
進み、新しい活動の方向を打ち出すチャ
ンスのようになってきている。本日は体力と
行動力のある若者が多数いれば良いが、
入会を促す興味のある山行や魅力的な企
画などが行えないと難しい。現在の私は
加齢による体力、頭脳など全ての衰えが

判るので、残念ながら以前のように先陣
切って行動できない状況である。鬱鬱な
がり、これまで経験した中から私の知っ
ている技術、知識を教えることで役に立
ちたいと思っている。

これまで定例山行の中で誘図山行を担
当して誘図の勉強、最近では集会所前
のルームでの基礎ロープワークを実施し
ている。これを機会に私以外の会員も得
意とする知識、技術を全員に伝える機会
を増やし、有意義な活動する会として
の特徴が出来るように提案したい。例え
ば、山飯の作り方、写真の撮り方、動
植物の知識、山道具の知識、天候、焚火、
キャンプの楽しみ方、近郊の山を集中調
査、PCやスマホの使い方など山に関連付
けた趣味、興味ある知識、得意とする事
を皆でお互いに講師になり伝授する環境
の会だてできないだろうか？ それは、現
メンバーが協力すれば可能だと思う。教
えることは自分自身が最新情報の勉強を
しなければならぬので認知症の防止に
もなる。会が面白いならば、自然に人も
集まってくる活性化する。

戦後の平和な時代が続いている時に
突然の新型コロナウイルスで世界中が混
乱し、我々登山愛好家が Stay Home と
せられるとは想像もしていなかった。自
粛要請が出て一月近く経つ今も、山に
行けずストレスを貯める事態になってい
る。私だけでなく会員誰しもが山行がで

きなくて、体力や精神衛生などに不安を
感じていると思う。ステイホームが長引
けば筋肉の衰えが怖い。

これまで地球上の人間達が我が物顔で環
境破壊してきたので、これに対抗しつ
いに他の生物達の逆襲が始まった気がす
る。鹿、猪、熊を里に出て来、農作物
を食い荒らし、街に現れて人に危害を加
えている。小動物だからと油断している
と、ヒアリのような外来危険生物なども
我々の隙を狙っている。また、東アフリ
カで大暴発したバッタの大群がパキス
タンまで来ている。中国にももつともな
く到達するかもしれない。農作物と言わ
ず山の植物も含めてすべて食い尽くされ
る。食糧事情が大きく混乱し日本への影
響も免れない。さらに、一百万種以上ワ
イルスの中から人類未知の怖いウィルス
が沢山あり、今回のように人間自身の行
動で広がるので怖い。今は、新型コロナウイルス
に出会わないように祈りながら
自粛して家閉じ籠っている私もある。

地球上生物の棲み分けに對しても謙
虚に反省して、お互いに穏やかに暮ら
していけるように人間が努力する時期に
来ていると思う。

最後に新型コロナウイルスが終息して、
山遊会だよりをルームで受け取れること
を願っています。



3月山行・西吾妻山のスノーモンスタ―散策ツアー

大小のスノーモンスタ―が
立ち並ぶ西吾妻山

中臺 文夫

日程：2019年3月2日(土)～3日(日)

目的地：西吾妻山

コース：3月2日(土) JR米沢駅10:22着 10:45発⇒(路線バス)⇒湯元駅前11:30着
⇒湯元駅11:40発⇒(天元台ロープウェイ)⇒高原駅11:45着 ペンションかもし
か11:50着(チェックイン&荷造り) ペンション12:15発⇒(レストランで昼食
12:30～13:00)3基のリフトを乗り継ぎ北望台[ほくぼうだい](1,810m)13:30着
13:45発⇒かもしか展望台14:25⇒中大巔[ちゅうだいてん](1,963.8m) 經由北
望台15:00着 15:05発⇒(リフト)⇒ペンション15:30着

3月3日(日)

ペンション8:15発⇒リフトで北望台8:45:着 9:00発⇒大凹[おおくぼ]⇒梵天岩10
:05着⇒西吾妻山山頂(2,035m)10:30～10:45⇒梵天岩11:05着⇒北望台11:50着・
12:00発⇒(リフト)⇒ペンション12:30着(昼食&荷造り12:45～13:30) 高原駅
13:45発⇒(ロープウェイ)⇒湯元駅13:50着 14:30発⇒(路線バス)⇒JR米沢駅
15:20着

参加者:大西、片山、松島、石光、古閑、辻橋、中臺(7名)

係り:片山

記録:文/中臺 写真/辻橋・中臺



ガラガラのゲレンデとリフト



ロープウェイからの眺望



ロープウェイ湯元駅



リフト乗継



リフト



空身でペンションへ



片山さんに続け!



北望台から偵察開始



大西さんはスキーで

3月2日
参加7名が同じ山形新幹線で米沢駅
に到着。
先週の入笠山2月山行のリベンジと
思つて勇んできたが、駅の周辺は雪が
見えず一瞬不安がよぎる。
路線バスは混雑するかと思つていた

がバス停には誰もいない。待つことし
ばし、到着した湯元駅前前の路線バス
は出入り口が1ヶ所の小さなマイクロ
バス。定刻通り出発。
市街地は日陰や空き地には若干雪が
見えるが、道路は乾いている。ところ
がバスが市街地を抜けると急に1m以

上積もった雪が出現。路肩を示す赤白
に塗り分けられたポールが目立つ。
道路は除雪済みでバスはスムーズに
進むがすれ違う車はほとんどなし。白
布温泉を過ぎほどなく終点湯元駅前バ
ス停に到着、周囲の駐車場にはかなり
の車が止まっている。

リフト乗り場近くのレストラン
で昼食後13時に出発、リフト3基
を乗り継ぎ約30分で北望台へ到着。
駐車場の車の数に比べるとゲレ

ペンションのご主人の機転で購
入済みの往復ロープウェイ券を払
い戻しお得なエリア宿泊者用ロー
プウェイ&リフト2日間乗り放
題券に変更していただいた。感謝!

松島さんは昨年骨折・手術した
腕の調子が思わしくなくペンショ
ン待機となった。

12時ごろにチェックイン後、明日
のコースの下見散策の身支度・準
備に入る。

往復チケットを購入後ロープウェイ
に乗り湯元駅から約5分で高原
駅に到着。ペンションのご主人が
スノーモービルでお迎え、7名
分のザック・荷物を運んでくれ、
我々は空身で雪の感触を楽しみな
がら5分でペンションに到着。



ぬけ出せない・・・



展望台より西吾妻山方面を望む



空が広がってきた

ンデはかなり空いていて、スキー持参の大西さんはグレンドラスキーで乗り放題リフト券をフル活用。



展望台で記念撮影



リトルモンスター?

閉さんのスノーシューの装着ベルトが破断、無念の早々のリタイアとなってしまった。
力強い片山さんに引つ張られるように3人が続き、樹林帯をぬけ眺望のよい「かもしか展望台(台はない)」へ到着。周囲にちらほらリトルモンスター



これはリトルモンスター!



中大巖経由下山コース



そろそろ下山開始

も見え、明日向かう西吾妻山方面がよく展望できる。
ここは辻橋さんが大自然の畏にかかってしまう。雪を踏み抜き胸ぐらいまで潜ってしまひなかなか抜け出せず片山さんがひっぱりあげやと脱出。
ホッとするまもなく下りリフトの時



ボリュームたっぷりの夕食



軽く?宴会



見惚れました

間がせまり下見散策はここまで、中大巖分岐を西吾妻山方面とは逆に左折し中大巖経由北望台へ15時に戻る。
(このコースは低木樹林帯でかなり歩きづらかった)
大西さんと合流、大西さんはスキーでグレンドから下山、我々はリフトで下山。ペンションへ戻った。

3月30日
7時30分からの朝食後、8時15分出発。残念ながら松島さんはやはり腕の調子が回復せず帰京することとなった。
天気も良く風もなく、昨日の下見散策のおかげでリフトでスムーズに8時50分に北望台到着。
今日は片山さんはつば足、辻橋さんはアイゼン、大西さんはスキーにシール装着、スノーシュー組は応急修理した古閑さん、石光さん

夕食後再度懇談、明日に備え早めの21時就寝で初日を終わる。
夕食まで時間があるのでそれぞれ入浴や荷物整理をしたり、メンバーの荷物置き場にと提供していただいた部屋で軽い宴会でしばし懇談。

中臺の3名と、思い思いの装備で西吾妻山頂上を目指す。
あつという間にかもしか展望台到着。中大巖分岐を右折し大凹へ向かいゆるく下り、そこから梵天岩のあるピークへ向かい少し急登。ミドルモンスター



梵天岩を目指して



ミドルモンスターをぬって



大凹から梵天岩方面へ

が多くなってきたみんな写真撮影に忙し。
北望台を出発して約1時間で梵天岩に到着。前方に目的の西吾妻山が見える。



スキーで登る大西さん



撮影で足が止まる



勇姿！！



梵天岩からゆるい下り



梵天岩到着



振り返ると朝日連峰

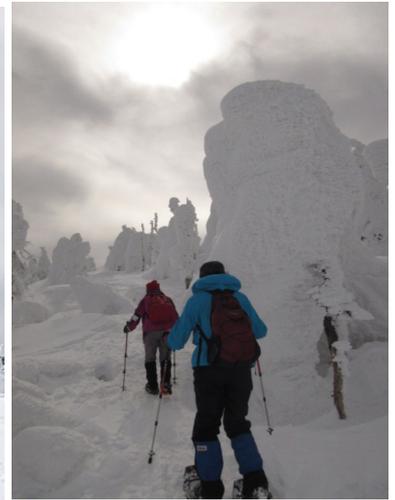
ここから再度ゆるく下り、吾妻連峰最高峰の西吾妻山（2,055m）へ向かい最後の登り。
このあたりからスノーモンスター出現！巨大なスノーモンスターの間をツ



これだ！！



山頂目指して



スノーモンスター

リーホールに気を付けながら頂上を目指す。

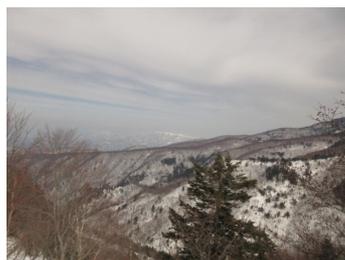


朝日連峰？



山頂記念撮影（大西さん転倒）

10時30分に頂上に到着するも雪のためか標識も見えず、頂上らしき場所



この方向はどこかな？



下りリフトから

をGPSでアバウトに特定し記念撮影。他の登山者も頂上がわからずみんなウロウロ。
夏の頂上は樹林の中で眺望は良くないそうだが、雪の季節の眺望はいい。



歓喜の記念撮影



宴の後

また、晴天じゃないからこそスノーモンスター(樹氷)は形成されるわけで、今回はよほど晴天と週末が合致し、かつスノーモンスターを満喫できた山行はなかなか貴重だった。



路線マイクロバス

朝日連峰や中・東吾妻山? 警梯山も警戒360度展望き、広天で昇華なスノーモンスター群を築きむことができた。撮影会もそこそこ来たルートに戻り下山開始。スノーモンスターや眺望に満足したみんなの足取りは軽い。昨日の中大願経由下山コースは歩きづらかったので、中大願分岐から登ってきたコースを戻り12時前に北望台に到着。12時30分にペンションに帰着。厚食・荷造りを済ませ、またペンションのご主人にスノーモービルでザック・荷物を運んでいただきロープウェイ高

原駅へ。早くも来年は雪の多い2月に西吾妻山山行をペンションかもしか泊で企画してほしいと片山さんをお願いする声も出た。ロープウェイで下山後、帰りはかなり込み合ったマイクロ路線バスで米沢駅着。帰りの新幹線がまちまちだったのでJR米沢駅で解散としたが、食いしん坊と酒好きが米沢牛と地酒をと意気投合し、結局6名全員が駅近くの飲食店であわただしく食べ・飲み、今度こそ解散となった。晴れ女の辻橋さんパワーか、参加者の行いが良いのか、山行両日とも天気が良く風もほとんどなく、「ラッセル片山」の出番はなかったが、片山リーダーのパワフルな動きがみんなをけん引、山遊会の目的である「山に遊び、山に学ぶ」を実践でき大変楽しい充実した山行だった。

※地図上のポイントをちよつと調べました。(雪で周囲と様子があまり違わなかったため無雪期の様子です)

・かもしか展望台：石がゴロゴロした明るい広場。特に展望台のようなものはない。付近はハイマツなど低木が多いので、見晴らしが良く、なだらかな山容の西吾妻山を展望することができる。

・大凹：北望台と西吾妻山のほぼ中間の位置の窪地にある水場。冷たい沢水が疲れを癒してくれる。残雪が夏ごろまであるところから「雪田草原」とも呼ばれている。付近は池塘が多くあり、高山植物の宝庫。この先、梵天岩までは岩や石を渡り歩く急坂が続く。コース中最も歩きにくいところ

・梵天岩・鞍部・大凹(おおくぼ)から岩で歩きにくい急坂を登り切ったところにある開けた岩場。東側には吾妻連峰西部の雄大な展望、そして、いろは沼など池塘群が楽しめる。反対側にはなだらかな山容の西吾妻山が見える。



4月山行・秩父・蓑山(美の山公園)お花見山行

一足早すぎた

秩父蓑山の花見山行

石光 久仁子

予定の時刻に西武秩父駅からバスで出発、高原牧場バス停で下車。リーダーから新入会員(大野和子さん)の紹介と各自顔合わせを済ませ、総勢11名の出発となる。

風は冷たいが春本番が始まったような日差し、里山の桜やツツジ、水仙、レンギョウなど和やかな花々に誘われて歩き始める。

里山のわりにはにくい道は要所に道標があり間違うことなく二十三夜寺につ



本日のコースの道標



集合! 出発!

日程：2019年4月6日(土)
目的地：蓑山(美の山公園)
コース：西武秩父駅10:06⇒(バス)⇒高原牧場入り口10:40
⇒二十三夜寺11:10~20⇒浅間神社入り口(イカリソウ群生地すぐ上)11:45~55⇒蓑山[美の山]山頂(13:00~15:00)⇒親鼻駅16:15
参加者：渡辺、大西、武藤、中臺、中村、山崎、辻橋、染谷、江村、大野、石光(11名)
係り：辻橋
記録：文/石光 写真/渡辺・中臺

く。神社の左横から登りに入るがすぐ
に舗装道路に出て二十三夜寺駐車場か



まずは花モモ

らの道路と合流する。道標に導かれ山
道に入るがまたも舗装道路に出て大き



桜並木を上る

く回り込み下っていく。
里山の複雑な地形を感じながら道標



二十三夜寺山門から



二十三夜寺の桜並木

に出て一休み。
右手にしめ縄を張った社らしきもの

に從つて山道に入る。
積もった枯葉をかさがさ踏
んで人のあまり入っていない
山道を進んでいくと小さな峠



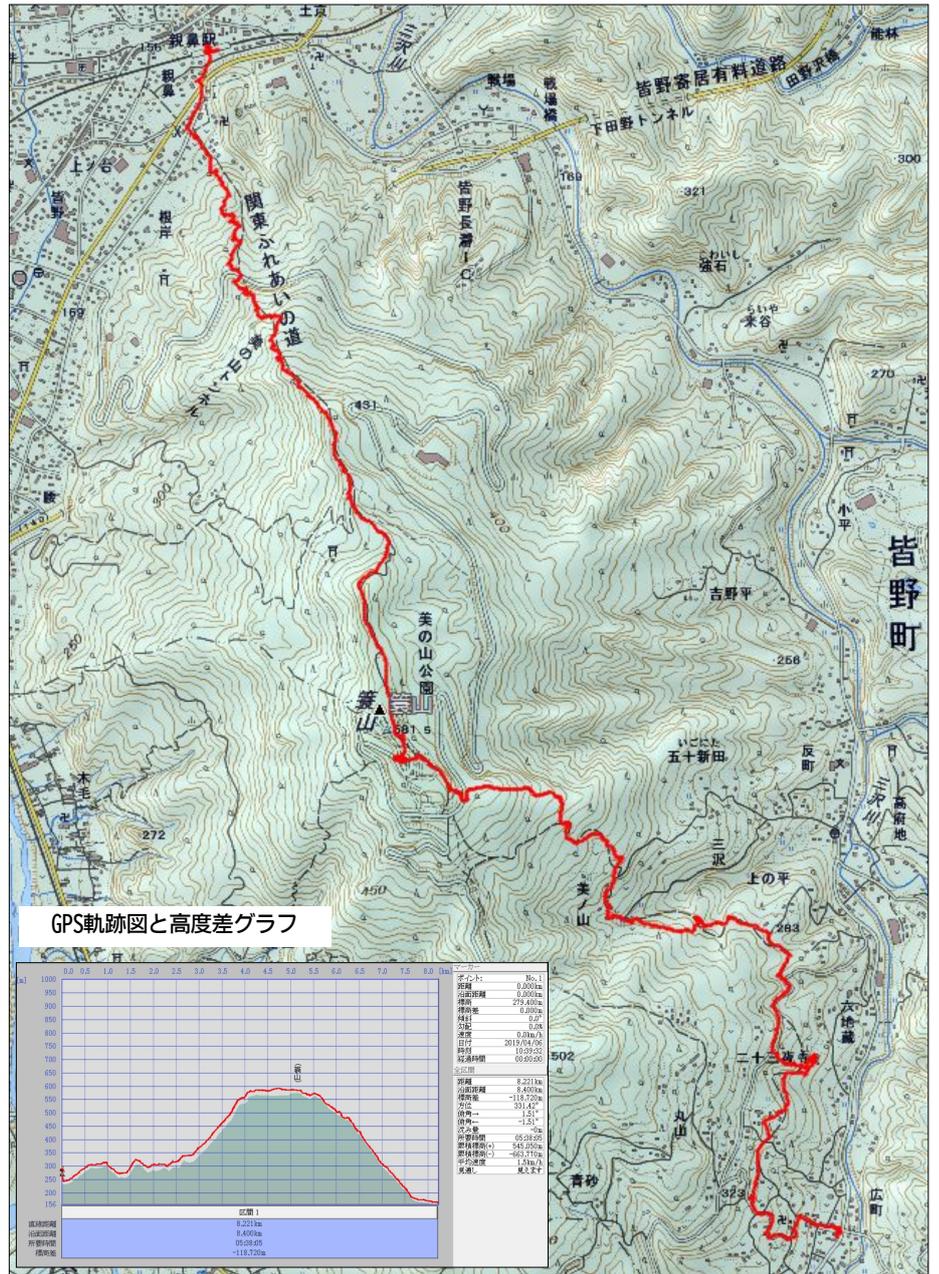
枯葉を踏んで



レンギョウの黄色が鮮やか



ユキヤナギとミツバツツジ



お気に入りの
ミミガタテンナンショウ



エイザンスミレ



ニリンソウ

が見える。女性群が多いせいか話が弾
み高級なチョコ、冷えたゼリー等いた
だき水分補給をして右手の方向に入る。
リーダー曰くリーダーより先に出ては
いけませんとの忠告を受け一列になっ
て進む。



ミツバツツジが少しだけ



またもや舗装道路へ



一列で山道に入る



ウグイスカグラ(江村さん確認)

エイザンスミレをはじめスミレ類が春を誇って目を和ませてくれる。しかし今回はイカリソウの群生がメインで



チームワークで素早い調理

あったのだが早かったようで見当たらない。何故かミミガタ

テンナンショウが皆さんお気に入りのようだった。春は始まったばかり、慌てることもない。芽吹き始めた木々がさわやかに



食後の茶会



きりたんぼ鍋



「みちのり」と合同記念写真



キブシもやっと咲き始め



山頂の桃?(桜には早かった)

沢を横目で見たり、壊れかけた人家に出会い生活圏を垣間見ながら行く。と立派な人家が現れ舗装道路に出て横切り、裏山山頂にいよいよ入る。

映える。



親鼻駅到着 ここにも桜



麓が近づくと桜が咲いている



足元に注意して下山

一段と枯葉が深くなり歩きづらい。また道も倒木なのか×印なのか不鮮明になってすぐ上に山頂の稜線が見えているのもどかしい。リーダーの許可を得て



温泉組も軽く反省会

先に急登の斜面に入るが、すぐ斜面をだらだら下ってしまう。尾根の端で直進する道に入り舗装道路と出会い、さらに直進すると第一駐車場、階段登りに汗だくで山頂へ。

「みちのり」の山仲間が到着してほろ酔いで我々を迎えてくださったが、とにかく桜どころではなく売店を探すもクローズしていて冷たいビールには出会えなかった。リーダーをはじめ山遊会の女性陣の手早いこと、あつという間にきりたんぼ鍋ができ、つぼみ桜を愛でながら、乾杯に宴が始まる。

宴の後は抹茶と甘い茶菓のお点前が始まり、コーヒーで締め括り今年のお花見は終了した。

山頂の桜はこれからが満開を迎えることになるだろうと想像しながら足元に注意をして一気に秩父鉄道の親鼻駅に下山する。

温泉組、自毛直行組、反省会組とそれぞれの思いで解散となる。

裏山、美の山公園は桜の名所となっていてこの時期は人で混雑するが今回は静かな花見ができた。桜もさることながら山野草の宝庫という思いがあつてこのルートをとつても楽しい、特にこの時期の裏山は大好きである。

また、秩父は神社仏閣が多く境内にはしだれ桜、ソメイヨシノなどがよく似合い、秩父の里山は花盛りでテンションも上がり楽しいお花見山行でした。

5月山行・大菩薩峠く小菅への縦走

真っ赤な夕日を
とことん眺めた大菩薩峠

松島 岳生

日程：2019年5月11日(土)～12日(日)
目的地：大菩薩峠～牛の寝通り～小菅
コース：5月11日(土) 晴

JR塩山駅集合12:00⇒(TAXI)⇒上日川峠⇒福ちゃん荘(12:35～50)⇒雷岩(13:53～14:00)⇒大菩薩嶺(14:07～12)⇒さいの河原14:45⇒介山荘15:15

5月12日(日) 晴

介山荘7:00⇒石丸峠(7:30～38)⇒玉蝶山8:10⇒榎ノ尾山9:10⇒狩場山10:40⇒大ダワ(昼食11:11～30)⇒モロクボ平12:30⇒小菅の湯(13:37～14:45)⇒(バス)⇒奥多摩駅(15:40～16:55)

参加者：渡辺、石光、染谷、中村、江村、古閑、小笠原、松島(8名)

係り：松島

記録：文/松島 写真/渡辺



大菩薩嶺(2,057m)にて



福ちゃん荘から唐松尾根を上る

腹(しら)えや身丈度をして早速、唐松尾根を雷岩へ上りはじめる。

5月11日(土)
三々五々塩山駅に集合。予約したタクシーで一路上日川峠経由で福ちゃん荘まで入る。



GPSデータ 赤：5月11日 青：12日



介山荘からの落日

雷岩から大菩薩嶺を往復。稜線歩きで、パラパラと雨が落ちてくる。この日は関東の山沿いに雷注意報が出ていたが、

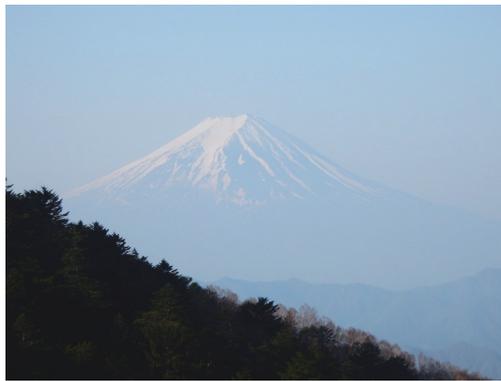
幸いさいの河原の避難小屋ではばらばら雨は止んでくれる。介山荘に一投足で到着。



春霞の富士山と大菩薩湖をバックに



介山荘からの夕暮れ



介山荘北50mから朝の富士山

食後、小屋の前で北アルプスの乗鞍岳に落ちていく見事に大きな夕日ととことん見る。

介山荘には名物娘がいる。小学校4年生で休日に両親と山荘に入り、登



記念撮影(介山荘主人撮影)

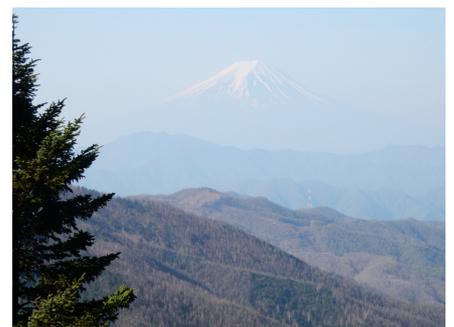
江村さんに教えてもらったミソサザイ、コカラ、シジユウカラなどのさえずりが絶え間なく我々に付き添ってくれる。木の間にツツジや山桜がちらほらと咲くようになる。オオカメノキの白い花が輝い

く。 5月12日(日) 朝食後、小屋の前で記念写真を撮って出発。 まだ冬景色の山上である。笹原の石丸峠で湯ノ丸峠への道を分ける。みずみずしい新緑が木々の枝に現れるのは1400mあたりからで、その後は標高を下げていくに従って新緑が濃く豊になっていく。

山者のためにかいがしく小屋のお手伝いをしてる様子はテレビ番組でも紹介されている名物娘。しばらくおじさんおばさんが退屈しないようにお相手をしてくれる。



石丸峠手前の稜線を歩く

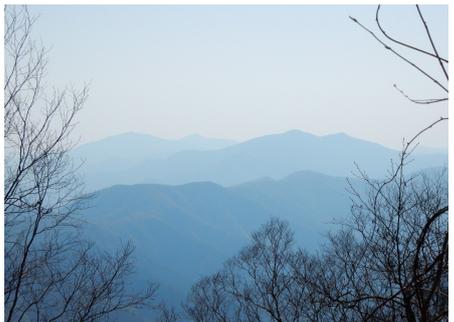


石丸峠手前から富士山

て咲いている。しばらく緑のトンネルが続く。 松姫峠からの登山道を合わせる太刀ワで昼食とする。

ここからは小菅の湯までは荒れたトバースになる。

植林帯のシグザグの作業道をうんざりするほど下ってようやく林道に出るが、小菅の湯は小高い丘の上にあるので、いつもながら最後のうりにひと頑張り。



石丸峠からの奥多摩三山(左から御前山、御岳山、三頭山)



牛の寝通りのなだらかな道



巨大なブナの木

やれやれ小菅の湯で入浴後、奥多摩駅行のバスにのり、小一時間。小池さんひびきの駅前の地ビールのピヤガーデンでリッチな反省会。 その後も運よくホリデー快速で東京方面へ。楽しい山行でした。



ワチガイソウ

【江村さんが出会った草花】
 タチツボスミレ、バイカオウレン、ミツバツツグリ、エイザンスミレ、ツクバネソウ、ワチガイソウ(写真)、キランソウ、ヒトリシスカ、ムラサキゲマン、カキドオシ、アセビ、ミツバツツジ、ヤマザクラ、オオカメノキ、ヤマツツジ、レンゲツツジ、ウワミズザクラ、トチノハナ



ミツバツツジか?



赤やしおが咲き始めていた

6月山行・天城山

天然林が美しい

天城山縦走路

渡辺 真一



日程: 2019年6月15日(土)~6月16日(日)
 目的地: 天城山
 コース 6月15日(土)
 河津駅9:55⇒(バス25分)⇒10:20河津七滝(かわづななだる)バス停10:25⇒大滝[おおだる](10:30~10:40)⇒11:00カニ滝⇒10:30初景滝⇒11:11蛇滝⇒11:17エビ滝⇒11:25釜滝⇒11:33猿田淵⇒11:38旧天城街道⇒宗太郎園地手前の東屋(昼食11:46~12:35)⇒12:43水垂バス停13:20⇒(バス30分)⇒13:50水恋鳥広場⇒14:00宿(富士見山荘)
 6月16日(日)
 宿7:50⇒(タクシー30分)⇒八丁池口(8:20~35)⇒9:05コルリ峠⇒9:30青スズ台⇒9:45展望台⇒八丁池(9:55~10:05)⇒11:05白田峠⇒戸塚峠(11:35~40)⇒12:25小岳⇒万三郎岳(昼食13:10~13:40)⇒14:10石楠立[はなだて]⇒15:00万三郎岳⇒15:45四辻⇒16:00天城高原ゴルフ場⇒(バス60分)⇒伊東駅
 参加者: 石光、江村、古閑、小松、大野、松島、渡辺(7名)
 係り: 渡辺
 記録: 文・写真・GPS/渡辺

6月15日(土)
 熱海駅8時26分出発の黒塗りの普通列車は、まさに豪華リゾート特急だった。恐る恐る車両の中に入ってみると、海側の座席が1列に外に向けていた。どう見ても特急仕様なので、掲示板の列車名を確認するのが普通列車となっている。結局、1時間ちよつとこの列車で海を眺めながら河津駅まで移動した。後で調べたら、伊豆急リゾート21の「黒船」と言う名の列車らしい。



伊豆急HPより黒船電車の外観、海に向けた座席

「普通列車」として1週間のうち半分、1日に3本だけ運行するようだ。ちなみに下田から熱海行きの上りは、「きんめ」と言う名前の赤い列車だと言っ

午前9時40分に河津駅に集合したのは大野、小松と渡辺の3名のみ。他の4名は1日目の行程はバスで直接宿に入ることが前日に決定していた。この日、伊豆市の天気予報は雨ではあるものの雨量は4mm程度だったので、降っても大したことはないと言っていた。伊東辺りでは降っていた

だと言っ



河津七滝 釜滝



河津七滝 大滝



釜滝の落口の柱状節理



ずらりと並んだジビエ料理

のコロケ等のジビエ料理、鮎に釜飯(後でたくさんのおにぎりに変身)、天然わさびで頂く刺身などその他のおかずも充実



富士見山荘露天風呂付近からの富士山(16日朝)



八丁池にて



ブナの根 (八丁池付近)



八丁池から天然林を白田峠に向かう



馬酔木の若芽が赤く見える

雨も途中から上がり、河津駅付近は降った形跡もなかった。これはラッキーとばかり9時分発のがら空きのバスに乗り込んだ。
河津七滝(ななだる)バス停にて下車したのは我々のみ。早速、最下流の大滝に向かう。伊豆で最大の滝という。ところが、滝のそばにある天城荘という旅館が滝の直ぐ横にプールや温泉を作って一般客は入れないようにしている。私有地なのかも知れないが、余りにも景観を損ねる状況だ!...と文句を言いつつ戻り始めたら、大粒の雨が落ちてきた。

雷も鳴り出し、本格的に雨具を着込んで傘を差しながら、上流へ向かう。雨の中、川沿いに作られた遊歩道は木道が多く滑りやすい。途中、沢蟹が道を横切ったり、巨大なガマガエルが木の道の真ん中に鎮座していて思わず踏み付けそうになったりした。
最上流の釜滝と猿田淵を見て旧天城道路に出た。宗太郎園地手前の東屋で昼食。雨と雷はますますひどくなる一方で、旧天城峠など以後の予定は取りやめて、バスで宿に向かうことにした。

宿に着いて1時間もしないうちに後続隊も到着。タクシーの運転手と交渉してバス料金よりも安い金額で来たという。さすが! 早速、内風呂と露天風呂に分かれて入り寛いだ。他の客はキャンセルしたとかで、この日は我々の貸し切りだった。食事は猪の鍋、鹿

のコロケ等のジビエ料理、鮎に釜飯(後でたくさんのおにぎりに変身)、天然わさびで頂く刺身などその他のおかずも充実していた。宿は我々と同世代のご主人が一人で切り盛りしており、猟師として猪や鹿を獲り、食事の準備から布団の上げ下げ、掃除片付けまでやっており、大変だなあと同情した。
夕食後、直ぐ近くだということでホタル祭りに見に行った。雨はこの時間には止んでいたが、ホタルも大雨の後は余り飛ばないらしく、目を凝らしてようやくくちらほらと眺められるくらいは少なさだった。しかし、遠くを飛んでいるはずのホタルでも結構明るく、また儂い光の点滅には癒された。戻って風呂に入り、宴会後直ぐに就寝。増水した水の流れる音は寝ていると結構耳につき、しかも夜中には雷と雨がひどかった。

6月16日(日)
朝は風は強かったが、晴れて部屋からも富士山が眺められた(この宿はこの地域で唯一富士山が見えるので富士見山荘と名付けたそう)。ちょうど宝永山火口が正面右側に見えた。
予約していた2台のタクシーに分乗し8時前に出発。八丁池に向かう。寒天林道にはグートがあり、このタクシー会社のみが鍵を持っているのだそう。昭和天皇がよく通われたと言つこと道はきれいに舗装整備されて快適だったが、上るにつれガスが濃くなり、風も出てきて不穏な雰囲気になる。
八丁池口に到着するも、何となく意気は上がらない。
最初は林道を、途中からはオオルリ歩道を歩くが、ますます風が強くなってきて、結局1時間ほど歩いたところで後続隊グループは離脱して、元の八丁口に戻ることにした。戻る頃にバスが出るタイミングだった。
霧に覆われた八丁池は幻想的だった。霧は濃くなるかと思えばさっと晴れ、また濃くなることを繰り返していた。モリアオガエルの卵は残念ながら見つけれなかった。池の縁では蛙の鳴き声が盛んに聞こえるが姿は見えない。実はここまでが風の最も強い時間(場所)だったようだ。八丁池から白田峠を通り戸塚峠までの1時間ちよっ

このコースは、天然林の樹林帯の中を歩くのだが、風は弱く晴れ間も見えてきてはほぼ平坦な道でもとても快適だった。戸塚峠からは小岳に向かって登りが始まる。小岳山頂はブナの自然林に覆われ、山頂として珍しい風景だった。この辺りのブナの幹は苔に覆われ黒っ



小岳山頂の天然ブナ林



ちょうど盛りの天城ツツジ



歩道で死んでいたジョウビタキ?

食を取りたかったが、稜線で風が強くなり、先へ進んだ。万三郎岳は一等三角点を持つ藪の中の山頂で、展望はきかなかったが、風はなくゆっくりと昼食が取れた。さすがにここは人が多く、3、4パーティが入れ替わり立ち替わり到着した。



石廊崎方面(風車が見えるが強風で全て止まっていた)



万三郎岳近くからの富士山



万三郎岳近くから伊豆大島

ぼい。ブナの幹を伝う水を栄養源にしてるのだろう。小岳付近で昼



万三郎岳山頂の一等三角点



万三郎岳山頂にて

とき、コースタイムとして30分の余裕があったはずだったが、万三郎岳に着いた時には5分ほどの余裕しかなくなっていた。馬酔木のトンネルをくぐり、時には頭をぶつけながら先を急ぐも、沢が増水して徒渉に苦労したり時間はどんどん過ぎていく。天城高原ゴルフ場のバス停手前700m

だてを越えて万三郎岳までは確かに石楠花の木が多く、満開の時はさぞかしきれいだろうと思われた。万三郎岳を出る

シャクナゲの花が少しでも残っていないかと探しながら万三郎岳に向かっていると、一輪だけ残った花を見つけた。万三郎岳から石楠立(はな



唯一残っていた天城シャクナゲ



石楠立の天城シャクナゲ説明板

伊東ではあらかじめ調べてあった近くの「まるたか」という海鮮の店に眺められた。の四辻と言うところから、最後の道は何と登りになっていて、息を切らせながら歩いて何とか4時に到着。バスは10分後に出発し、伊東に向かって山を下っていった。途中富士山がきれいに見えた。



四辻近くで鹿



万三郎岳山頂にて



天城高原ゴルフ場の左手遠笠山、中央に大室山



SINAKOKI BAI

熱海からのこだまの自由席は空いていて、4人掛けを3人で坐り、また一杯やりながら東京まであっという間だった。

行く。地魚の刺身や金目鯛の煮付けなど新鮮な海鮮中心の肴にビールが進んだ。最後の締めで食べた「うずわのま茶」という謎の茶漬けが実に美味かった。聞くとソーダ鯉をたたきにしたものらしい。出汁もソーダ鯉で作っているとか、追加無料サービスで唐辛子をたっぷり入れて食べた。これほどたらふく飲み食いしても1人3千円程だった。



天城高原ゴルフ場バス停から富士山

7月山行・美ヶ原

溪流コースとトレッキング

大パノラマをたつぷりと

山崎 浩子

7月13日(土)

当日の天気予報は二日間梅雨空で降らなければ良しの気分。連休の初日とあり座席指定は完売、しかし自由席は結構余裕があり大宮からの松島さん、中村さんも山崎と同じ列に座り、上田で辻橋さん、染谷さん保坂さんと合流する。

日程：2019年7月13日(土)～14日(日)

目的地：美ヶ原(溪流コースとトレッキング、大パノラマをたつぷりと)

コース 7月13日(土) 晴れ

北陸新幹線上田駅集合8:00⇒(宿の送迎車)⇒10:00扉峠⇒10:30稜線⇒茶臼山(昼食11:45～12:35)⇒12:55牧場⇒13:32塩くれ場⇒13:55山本小屋⇒14:15牛伏山⇒14:37山本小屋⇒(宿の送迎車)⇒15:30雲溪荘

7月14日(日) 雨のち曇り

雲溪荘発 9:00⇒上田城址公園(10:00～11:20)⇒やぐら亭(昼食11:35～12:30)⇒13:00北陸新幹線上田駅

参加者:保坂、染谷、辻橋、中村、松島、山崎(6名)

係り:保坂

記録:文/山崎 写真/保坂



扉峠への登り



コウリタンポポ



茶臼山まで2kmの標識板



峠からの茶臼山



ウツボグサ



サラサドウダンツツジ



茶臼山まで0.8kmの標識板



レンゲツツジ



茶臼山山頂にて



ここまでの道と三峰山



茶臼山の三角点

前に車で宿に到着。早

雨が降るから風が強くなり始めた。頂、この頃伏山へは女性5人で登らった。牛変更してもの駐車場へを山本小屋の車の迎えを山本小屋の申し出。保坂さんはじめみんな

お天気は軽井沢あたりから晴れ間も見え期待感が増します。宿の車が迎えに来てくれ扉峠まで1時間余りを送ってもらう。扉峠に着くと遠望は望めないものの近くの山は見え雲の切れ間もあり予定通り登り始める。登り始めは多少急で

はあるけれどまもなく緩い登りになる。稜線に出ると近くの鉢伏山や蓼科山も見える。予定のコースタイムから植物観察に熱心あまりオーバータイム。当初予定の美しい塔から茶臼山頂へ昼食を要する。ゆっくりとお

昼を食べ牧場の中を横切り塩くれ場を目指す。お天気は降らず照らすで快適。塩くれ場にいる牛の大きい事&美味しそうとの声も。このあたりに来ると一般の観光客も随分と多くなってきた。山本小屋に着き牛伏山に登ろうとすると、松島さんが立ちくらみがするののでここで待っていたいとの申し出。保坂さんはじめみんな



ハクサンチドリ
(開花未熟)



牛伏山山頂にて



塩くれ場への道



塩くれ場まで1.6kmの標識板



牛臥山園地の案内板



レンゲツツジの牧場



牧場と王ヶ頭ホテル



牛伏山の案内牛

この宿の宿泊料は八千円もしないで、送迎に片道一時間以上もかかるの

7月14日(日) 前日から降り始めた雨は、9時に出発する頃も止まずでした。今日は登山から観光へ変更、宿の支配人から蕎麦屋のお勧めを聞き出し上田城へと向かう。

に送迎料は無料、申し訳ない気分。9月の中旬から10月上旬まで松茸料理も味わえるそうです。上田城ではボランティアアガイドの無料の案内に同行。またも松島さんの気分がすくねなくなり、一足先に東京へ帰ることになり保坂さんの車で駅に向かう。残された女性4人は支配人お勧めの蕎麦屋へ、すぐに見つかったものの行列ができていたのでのんびり待つのでした。

計画通りの登山はできなかったものの、山と美味しものにありつけて全員満足の「美ヶ原」山行でした。

予報通り夕食前から雨が降り出し、翌日まで降り続きそうなので翌日の登山は中止して上田城址公園に予定を変更する。

日程：2019年8月24日(土)

目的地：御岳山

コース：JR御嶽駅9:15⇒(バス)⇒ケーブル下⇒滝本駅⇒(ケーブル)⇒9:50御岳山駅⇒山頂レンゲショウマ群生地観賞(10:00⇒10:25) 神苑の森⇒天狗の腰掛杉(10:44~51)⇒奥の院(11:36~50)⇒12:02鍋割山巻き道分岐⇒12:28芥場峠⇒上高岩東屋(ランチ12:46~13:30)⇒13:52芥場峠⇒ロックガーデンへの分岐/東屋(14:11~16)⇒14:37天狗の腰掛杉⇒15:06御岳山駅⇒(ケーブル)⇒滝本駅⇒ケーブル下⇒(バス)⇒15:35JR御嶽駅

参加者：武藤、染谷、山崎、辻橋、喜多、江村、渡辺、小池、木村、中臺(10名)

係り：武藤

記録：文/木村 写真/渡辺・中臺



レンゲショウマ群落

8月24日(土)朝5月30分、昨日の雨が嘘のように晴れ渡っている。天が味方したのか？山と呼ばれてる？ならば、今日は山日和である。3月に山遊会に入会し、今日が初めての山行となるが、既に気持ちは御岳山へ。待ち合わせの御嶽駅は、人、人の波でこった返し、バス乗り場も大勢の人が並び、その人の多さに驚かされてしまう。休む間もなくバス、ケーブルを乗り継ぎ御岳山駅へ。

木村 樹美雄

8月山行・御岳山と上高岩展望台
レンゲショウマ群生地から
上高岩展望台で眺めを楽しむ

いが、上高岩山展望台にほりっばな東屋があり、景観は360度の大展望。とても気持ちが良い。ここでワインなどを飲みながら、賞切状態でランチャタイム。山の景観と空気を満喫といつてころだろうか。



ここにも秋の気配が



芥場峠から上高岩山へ



芥場峠標識 (芥場峠の表記はない)



上高岩山東屋(後方は大岳山)



東屋手前でツルリンドウ



上高岩山山頂

満足。満足。大いに満足。一時間ほど休憩し芥場峠からロックガーデンへと向かう。ロックガーデンの名

満足。満足。大いに満足。一時間



沢沿いに行く



芥場峠からロックガーデンへ



ケーブル駅手前でへび



ツルニンジン

前からして沢沿いに大きな一枚岩があり、沢の音を聞きながらその岩に寝転んでなど思っていたが、休憩所があり、その中で若者が一人昼寝をしていた。非常にのどかだ。大きな一枚岩のよつものはなかったが、沢の水は綺麗で沢の音に気持ちも和まされる。一時間程木々の間の道を下

補足・中巻

***神苑の森：武蔵御嶽神社もしくは御嶽ビジターセンターが発行したイラストマップを見ると、神苑の森は道が狭いので天狗の腰掛け杉を入口とし、神社鳥居前広場のトイレ脇へ抜ける一方通行コースだそうです。今回は一方通行を、昨今話題になる逆走をしたことになってしまいました。

***オクモミジバハグマ・モミジバハグマかとも思ったのですが、御岳山で撮影されたまったく同じ写真をたまたまネットで見つけたのでオクモミジバハグマとしました。

***へびの同定：へびを見たときはシマへびだったのですが、調べてみました。へびは個体差が大きいのでネットの画像を多く見ました。

- ・縦しま模様がないのでシマへびではない
- ・模様や頭の形が違うのでママシではない
- ・顔は似ているが、特徴的な赤いウロコ模様がないのでヤマカガシではない

・模様から判断するとアオダイショウだと思われ(色の個体差は大きい種類)

り、御岳山駅からケーブル、バスを乗り継いで御嶽駅へ3時35分到着。ここでひとまず解散。
一部は帰路につき、残りのメンバーは河辺温泉・梅の湯にて入浴後反省会を兼ねて歓談となる。
初めての参加で、天候にも恵まれ、急な登りや下りもなく、何より参加

者全員にケガもなく、とても良い山行ができた。これは実感です。



山遊会十五周年記念

15周年記念手ぬぐいデザイン下書き(山口喜氏画)

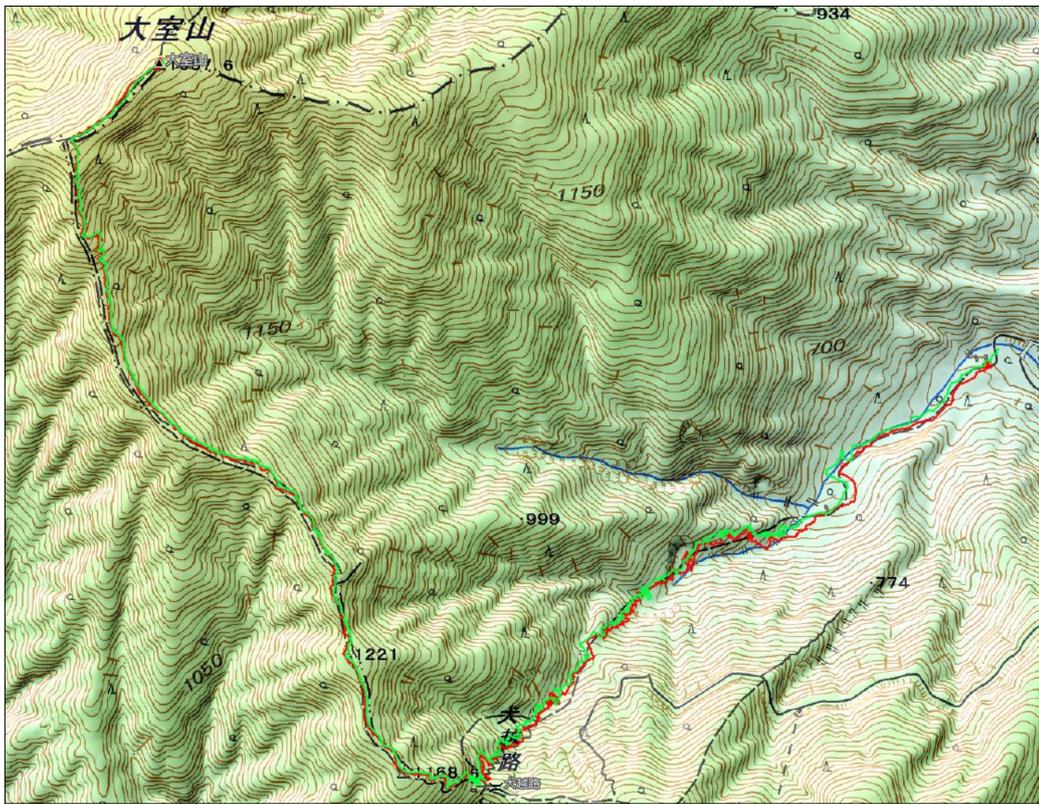
出典氏：「山遊会十五周年記念手ぬぐい」のオリジナル製から場への発送まで全て頂いたのですが、二〇一九年九月八日種葉を逆送されました。七九歳でした。

9月山行・大室山

富士山もテンニンソウも

ちよつと期待外れの 大室山

渡辺 真一



GPS軌跡図上り:赤 下り:緑
グラフ(上り)



日程:2019年9月13日(金)~9月14日(土)

目的地:大室山

コース:9月13日(金)

JR相模湖駅15:00発⇒(レンタカー)⇒16:15神ノ川ヒュッテ

9月14日(土)

神ノ川ヒュッテ[550m]6:30発⇒犬越路避難小屋(8:40~50)⇒休憩所1,230m(9:30~40)⇒1,450m地点(10:40~50)⇒11:15西の肩⇒大室山[1,587m](昼食11:25~12:05)⇒12:10西の肩⇒12:30[1,450m地点]⇒休憩所[1,230m](13:15~20)⇒犬越路避難小屋(13:55~14:05)⇒15:55神ノ川ヒュッテ⇒(レンタカー)⇒いやしの湯(16:30~17:00)⇒(レンタカー相模原経由)⇒18:30JR八王子駅南口

歩程約7時間半(休憩除く)

参加者:染谷、辻橋、大野、小松、武藤、中臺、渡辺(7名)

係り:渡辺

記録:文・GPS/渡辺 写真/渡辺、小松、中臺



ヒュッテの外観



神ノ川ヒュッテ到着



イギリスのリキュール「ピムス」を飲め準備



早い夕食に苦しい

9月13日(金)
ちよつと夏の太平洋高気圧が南下し、北の大陸高気圧に入れ替わろうという時期で、暑さも一段落し、涼しくなってきたとはいいたが、多少不安定な天気が続いていた。しかし、翌日14日の天候は予報によると晴れ。大いに期待しながら、山行担当の渡辺は八王子駅前の地下から8名乗りのレンタカーを借り出し、相模湖駅に向け甲州街道の20号線を走った。大垂水峠より先はトラックが列をなしているノロノロペースになったも

の、予定の15時ちよつとに相模湖駅に到着。待つていた6名を乗せコンビニに寄り、目的地に向かう。ところが、レンタカーのナビがどうも怪しい。何となく違う方に走っているようなので、停車してスマホの助けを借りながら修正。到着直前にはヒュッテから予約の確認の電話が入る。本当に来るかどうかが心配だったのだから、16時過ぎに神ノ川ヒュッテに到着。神ノ川ヒュッテに着いてみるとすでに夕食の準備が整っており、早く食べるように催促される。まだ時間も早く、部屋で少しくつろいで一杯やっってから夕食に向かうのが山遊会好み。手伝いに来ていた女性達が片付けをさつさと終わらせて早く帰りたいため、そ

手伝いの女性達は皆帰り、管理人は一人で来ていた相客と飲み始めたのでわれわれも気兼ねなく食事部屋の奥のテーブルで宴会を始めた。担当が用意

の様な段取りになつたらしい。1泊2食付きで6千円という今どき破格の値段の小屋なので、文句も言えず従った。食事の後には新でくべた風呂に入ったが、中を虫が飛び交うワイルドな感じがなかなかのものだった。



いはい山道へ



出発!!



立派な公衆トイレ



沢の脇を行く

したのは「ピムス」というイギリスのリキュール。キュウリとレモンを入れて炭酸で割って飲む酒だ。炭酸が三ツ矢サイダーだったのでちよつと甘すぎたが、まあまあイケた(と担当は勝手に思っている)。夜トイレに行ったときには雨がばらついてた。



また渡り



沢を渡り



難所通過・ガレ場で小休止



ガレ場の上の急登を登る



犬越谷口向け出発!

床、天候も朝食もまあまあ(管理人は飯が余ったからお握りで持っていかなかつた)。朝のトイレは山小屋駐車場の先にある奥営の立派な公衆トイレを使わせてもらう。予定よりも早く6時半出発。途中ガレ場が崩れていて道が下見の時と異なっていたが、さほど問題なく無事通過。ここが一番の難所。その先から犬越路

9月14日(土)
朝は5時前に起床



トタン板も飛ばされて



崩落した山肌も

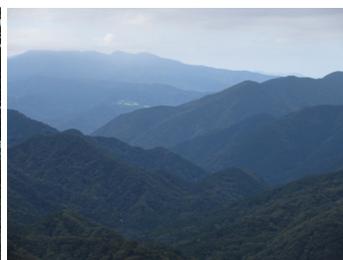


チョッとだけ緩やかに

までが急登。台風風の風で飛ばされたとみられるトタン板や鉄棒が避難小屋から二、四〇〇m離れた登山道の脇に落ちていた。下見の時には尾根上にあつたものだ。急登をあえいで上り、ようやく犬越路のきれいな避難小屋に到着。昨晚眠れず体調不良という武藤さんはここで待つという。尾根に出たので景色が開けたものの



尾根道からの残念な眺望(富士山方面)



犬越路避難小屋からの眺望(箱根方面)



犬越路直前の上り

霧がかかっている、直ぐ横に位置するはずの富士山は見えず、愛鷹山がかすかに眺められた程度。倒木が道をふさぐ。植生を守るために設けられた保護柵の中は笹も背が高く、いろいろな花も咲いていた。その中にテンニンソウがあつた。



尾根道をふさぐ倒木



尾根道を行く



秋の気配

神ノ川ヒュッテ邸には、「8月下旬から9月中旬にかけて大室山に咲くテンニンソウは、山全体を黄色い色に染めるほどに群生し、深い霧と、ブナの原生林の中がかすかに震えながら咲く姿は、まさにテンニンソウの名にふさわしく、お伽話の中にあるように」と記されている。いつ書かれたのかわからないが、この時から環境は大きく変わってしまったのだろう。結果的に柵の外でテンニンソウを見ることはな



保護策の中のテンニンソウ群落



植生保護効果



やせ尾根の急降下



テンニンソウ



トリカブトの花 その1



キノコのなる木



まだまだ尾根道



トリカブトの花 その2



アズマヤマアザミ その2



アズマヤマアザミ その1



ノコンギク?の群落



バライチゴの白い花



バライチゴの果実



ヤマホトトギス



女性陣に花マルをもらった階段



もうすぐ頂上かな?



登頂!!!!

本当にもう頂上です!

ヒュッテ目指して下り出したが雨もパラパラ降り出し、滑りやすい道でペースは上がらなかった。傘を片手に持った染谷さんも、普段は見ることのない尻餅を複数回、披露していた。

犬越路避難小屋で無聊を託っていた武藤さんと合流し、ヒュッテ目指して下り出した。来た道をそのまま戻った。ところが、西の肩からの下りが長く、1時間10分のコースタイムを2時間近くかかってしまった。大越路避難小屋で無聊を託っていた武藤さんと合流し、ヒュッテ目指して下り出した。

ムラサキアブラシメシモドキ

下山は、下見の時には山頂から鐘撞山に向かう稜線をしばらく歩き、日陰新道と呼ばれる森林の中の道を神ノ川ヒュッテに直接下るルートを取ったが、虫が多くてしかも景色も見えない泥道だったので今回は敬遠し、

肩から大室山までは山梨県と神奈川県の県境。なだらかな道で直ぐに大室山

山頂二五八七mに到着した。樹木が多

る。他に余り人もおらずゆつくりと昼食を楽しんだ。

梨百名山などが記載された看板もある。他に余り人もおらずゆつくりと昼食を楽しんだ。

疲労困憊しながらもヒュッテには何とか16時に到着。管理人は出かけて留守だったが、標高差千m以上の長くて大変な登山を無事終了した。



霧も出てきた



雨催いの中、下山開始



昼食前に記念撮影

20号方向ではなく、国道413号を相模原方面に向かった。こちらのルートの方が空いているだろうとの判断でもあった。しかしながら、結果は散々で相模原市内で渋滞し約束の返却時間が刻々



モミジバハグマ

発。余り信用できないナビを操作して相模湖駅や国道



チョットと幽玄

て家族連れで賑わっていた。当然温泉の中も満員。とにかく汗を流して17時ひつたりに出

ヒュッテからはバスまでレンタカーに飛び乗り、帰路途中にある源泉掛け流し温泉の「いやしの湯」に。ここはキャンプ場が隣接しており



傘を片手の染谷さん



ガレ場を通過する

と近づいて、イライラさせられた。最後にガソリンスタンドを探すのにも一苦労。スマホの威力で何とか見つけて、



もうすぐ沢筋、慎重に



気になる年輪



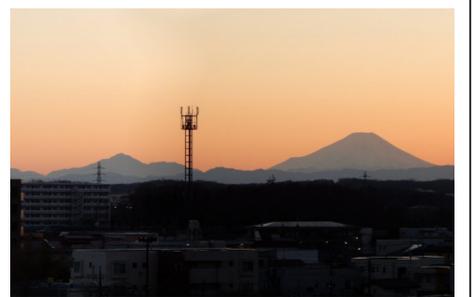
キノコの樹木ザイモクタケ?



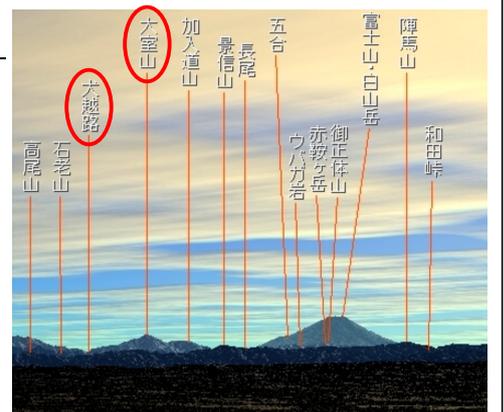
シロソウメンタケ?

土山が丹沢山系と奥多摩山系の間にあって、前面が高尾山・陣馬山の低山しかないからだ。

最後に、渡辺が大室山山行を希望して担当した理由を述べておきたい・・・私の住む所沢からは、富士山が裾野まできれいに見える。富士山が丹沢山系と奥多摩山系の間にあって、前面が高尾山・陣馬山の低山しかないからだ。



右富士山・左大室山(所沢から2019年2月撮影)



カシミール3Dでシミュレーション

写真、今年の2月に自宅近所のホームセンター屋上(4F)から撮ったもので、カシミールの画像と比較してもらいたい。実は今回改めて見直して、犬越路まで見えていることに驚いた。今回、つらい思いで登った尾根が鮮明に眺められる。もし晴れていたならば、あの尾根から所沢方面の景色も見えていたはずである。皆さんも、所沢、川越、富士見辺りに来られたときは富士山の左側を眺めてみて欲しい。冬ならば大室山や犬越路までの尾根が眺めることができ、また新たな感動を呼ぶことでしょう。

八王子駅南口の駐車場に辿り着いた時間が約束の18時半ちょうど。まさに離れ業だった。レンタカー屋と同じビル内のそば屋で打ち上げ&反省会。担当は山行とドライブの時間調整に大いに疲れて、しかしその分、無事完了の美酒に大いに酔っ払った。

そして丹沢山系の右端、富士山の直ぐ左横にきれいな山容の山が眺められる。これが大室山だというのは、カシミール3Dでシミュレーションして判明した。それ以来一度登ってみたいと思うっていたのです。写真は、今年の2月に自宅近所のホームセンター屋上(4F)から撮ったもので、カシミールの画像と比較してもらいたい。実は今回改めて見直して、犬越路まで見えていることに驚いた。今回、つらい思いで登った尾根が鮮明に眺められる。もし晴れていたならば、あの尾根から所沢方面の景色も見えていたはずである。

10月山行・赤ぼっこ

奥多摩の山々や青梅の街並の
眺望に優れたハイキングコース

小池 透

前日までの台風影響の雨が嘘のよう
に晴れ渡っている。

待ち合わせのJR青梅駅バス停に
11名集合。Wさんに言われ交番に登

山計画書を出す。救助隊が管轄でそち
らに回します有難うございますと言わ
れる。

11時26分発吉野行きバスに乗る。

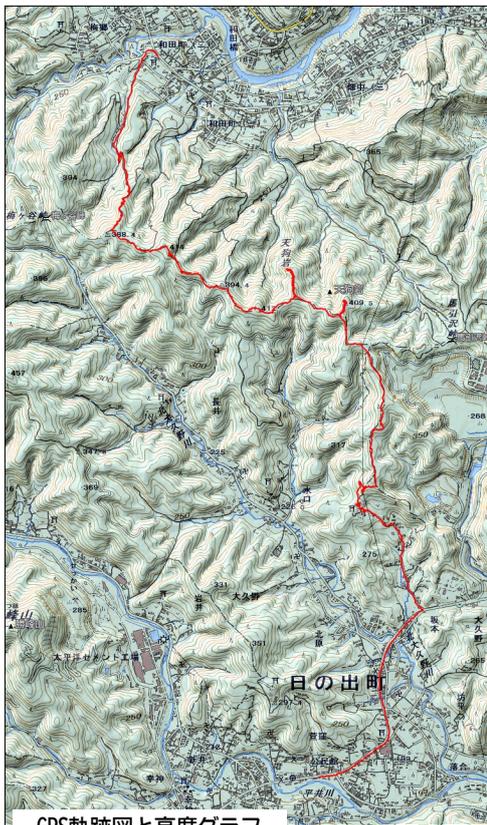


バス停の目の前が稲荷神社



稲荷神社裏手の石積み
見事な積み方

稲荷神社前
バス停下車、
梅ヶ谷峠へ向
かうと40分
程で尾根に出
る。
尾根道は穏
やかな起伏が



GPS軌跡図と高度グラフ



日程：2019年10月26日(土)

目的地：赤ぼっこ

コース：JR青梅駅＝青梅駅バス停11:26発⇒(バス15分)⇒稲
荷神社前11:40着⇒13:10天狗岩⇒赤ぼっこ(昼食13:
20～14:05)⇒15:00神明神社⇒15:46萱窪バス停
(バス)⇒16:20JR武蔵五日市駅

参加者：染谷、辻橋、山崎、古閑、大野、杉田、渡辺、大西、
武藤、木村、小池(11名)

係り：小池

記録：文：小池 GPS&写真：渡辺



樹林帯を行く



シシウド



コウヤボウキ



氾濫した川の傍らの蜘蛛
の巣、大雨にも負けず



赤ぼっこへの標識



天狗岩まで行った面々



天狗岩からの青梅の街並み



赤ぼっこの三等三角点

連続する快適な道で30分程で天狗岩へ
の分岐に着く。

30分程馬引沢
峠方面に行くが、
右方面の坂本の
指導標がなく少し

赤ぼっこは5
分くらいで、視界
が開け見晴らしは
最高。青梅市街地
奥多摩の山々が遠
くま見渡せる。こ
こで一緒になりラ
ンチタイムを取る。

一手に分かれ天
狗岩と赤ぼっこ、
天狗岩は左へ行く
といったん鞍部へ
下り、すぐに急な
登りになって岩場
の上に出る。ここ
が天狗岩。

迷ったが、何とか目標の神明神社に着く。



赤ほっこの言われ看板



赤ほっこにて全員の記念写真



親子丼を調理する大西さん

留守番役の二言さんに電話、ラグビーをやっている方なのでWラグビーおめでようーと言いつい。



人家のあるところへ出てホッ



竹林があって少し道を迷う



ツルリンドウの赤い実



ツルリンドウ



キンモクセイの花殻が道路わきに



今までは坂本橋からバスが出ていたのですが菅窪バス停まで30〜40分歩かなければならなかった。
天気は良く、少し迷いはしましたが何とか赤ほっこ、神明神社に無事付き安堵しました。
バス20分程で武蔵五口市駅着、解散。
反省会は拝島で美しい富士を見ながら美酒を味わった。
反省として私も初めて下見をしたのですが、責任を負うものとして皆様と同じように下見をやるべきだと思った。

横浜の自宅を出る時はかなり本格的な雨。
9時34分着の同じ電車で谷田、小笠原、なかだいの3人が東吾野駅に。
大西さんは1本前の電車で到着されており合流。小雨模様。
事前に①チェックポイントがプロットされた地形図、②読図チェック表、

11月山行・読図山行・飯能アルプスの大高山

雨をものともせず 内容の濃い地図読み山行

中臺 文夫

③ロープの結び方の種類を列記した書類、④絵入りのロープの結び方解説書類を配信していただいております登山用スリングとロープも持参、さらに当日、⑤コンパスの使い方解説書類、⑥絵入りのロープの結び方解説書類3枚を追加いただきました。

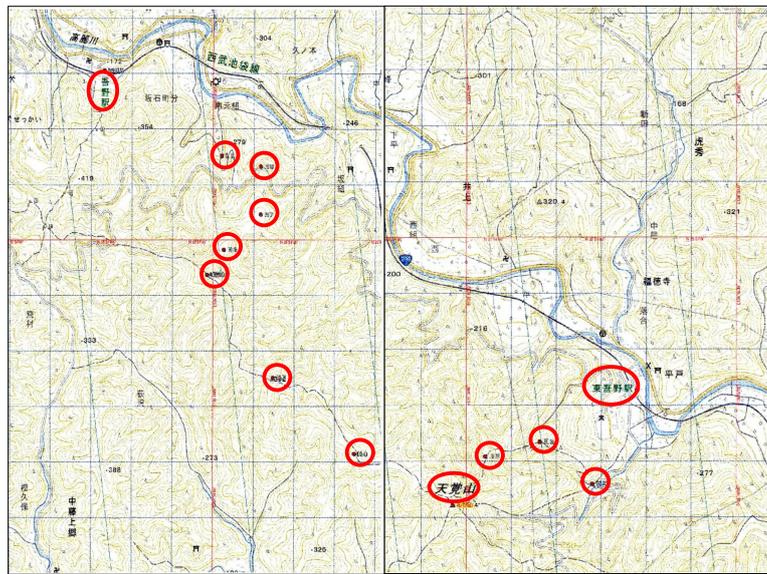
日程：2019年11月23日(土)
目的地：飯能アルプス 大高山
コース：東吾野駅出発10:06⇒10:20[H1]⇒[H2](10:38~10:42)⇒10:55[H3]⇒天覚山[445m](11:08~11:18)⇒11:47[H4]⇒12:18[H5]⇒大高山[493m](昼食・ロープワーク講習12:50~13:45)⇒14:00[H6]⇒14:08[H7]⇒14:20[H8]⇒14:30[H9]⇒15:00吾野駅到着
参加者：大西、谷口、小笠原、中臺(4名)
係り：大西
記録：文/中臺 GPS/大西 写真/中臺



難なくH1到着

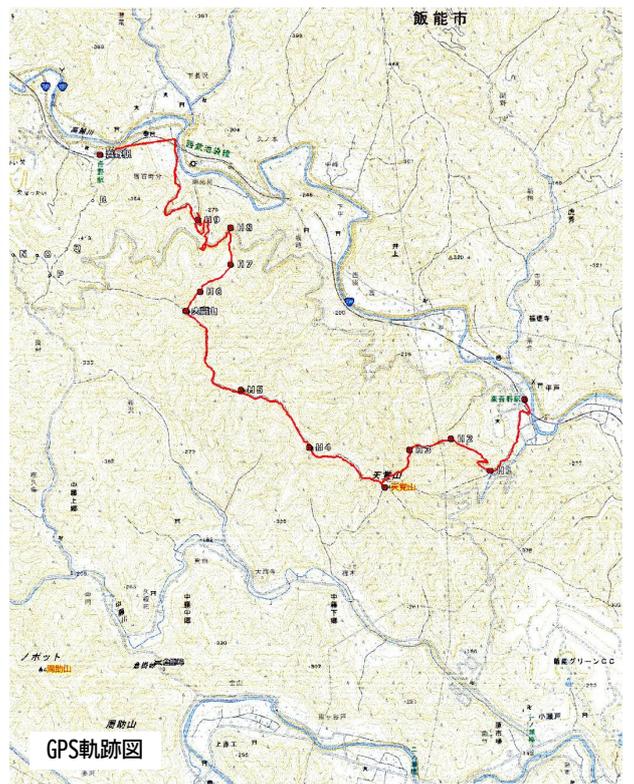


改札口での大西教室



天覚山⇒H4~5⇒大高山⇒
H6~9⇒吾野駅

東吾野駅⇒H1~3⇒天覚山



GPS軌跡図



急登を上りH3到着



H2到着 かなりの急登



天覚山山頂下の神社跡の大岩と杉



たまに雨脚が強くなる



H4?大西さんに指導を仰ぐ



天覚山山頂で記念撮影



大高山山頂直前の急登



やっとH5到着



立ち止まっては確認

改札を出たところで早速大西教室が開始された。登山用スリングとロープの使い方は山行途中で言う予定で、地形図の読み方とコンパスの使い方についてご指導いただく。今回は「地形図の読み方」、「コンパスの使い方」、「基礎的なロープの扱い」を必ず習得するようにと大西講師から厳命された。

久しぶりの雨の山行、全員雨具装着、地図の防水対策を施し10時6分に出発。小笠原さん先頭で地形図・コンパスを見ながら難なくH1ポイント到着。引き続き小笠原さん先頭で、かなりの急登を経てH2ポイント到着。途中、大西さんから行程全体を考慮して歩行スピードを調整するよう指導が入るほど、若い小笠原さんは速い。

ここから先は谷田さんが先頭。途中まだまだ急登で汗をかきながら、昨年の読図山行の下りで間違えた分岐(昨年Y9)がH3ポイントに設定されており、今回は上りで10時55分到着。昨年

年の話で盛り上がる。しばらくゆるく上ると、昨年も見ただきな岩とその岩の一部を抱え込んだ杉の木が出現、すぐ上の天覚山頂上に11時8分到着。

雨は弱くなったりするものの止まない。記念撮影後すぐに出発。ルートはまだはっきりしているが、似たような地形でH4ポイントを間違え、10分ほ

ど歩き、正解のH6ポイントに到着。このころから立ち止まっては地形図とコンパスを眺めなおす回数が増える。

H5ポイント到着、ほんの少し休憩の後出発。12時50分に大高山山頂到着。やっと昼食。雨は相変わらず、寒さ



大高山を出発



ロープワーク講習会



大高山山頂



紅葉したツタ



舗装された林道へ出る(H8)



H7到着

を感じ大急ぎで昼食をとる。昼食後ロープワーク講習会。昨年覚えただけのことはすっかり忘れてしまっており、恥ずかしい限り。やはり年一回では覚えが悪く、他の山行や集会の機会でのロープワーク講習の必要性を痛感した。

13時45分に大高山を出発。ここが



最後のチェックポイントH9の分岐



ハダカホオズキの赤い実

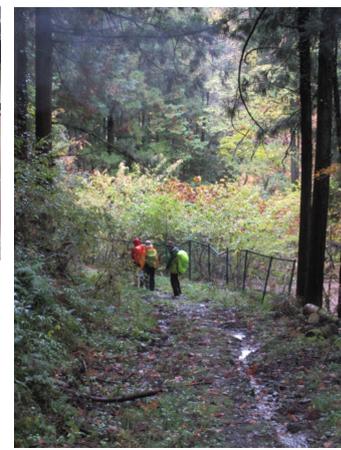


赤と黄色のモミジ

らはルートのないコースとなり、H6ポイントだったテレビ塔玉中継施設を素通りしてしまうミス。若干本来のコースを外れたが、地形図とコンパスを頼りに何とかH7ポイントを経由し舗装された林道へ出る。ここがH8ポイント。このあたりから周りの景色が少しずつ



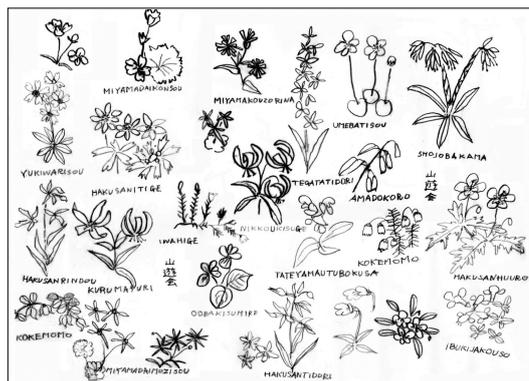
吾野宿(レンズが曇ってしまった)



吾野駅に向かって



台風か大雨の爪あと



飯能へ移動。移動中の車中でロー

へ向かう急階段も堪えたが、少人数で大変内容の濃い読図山行でした。

雨も降っていたし、急登が多

く最後の吾野駅

に無事到着。

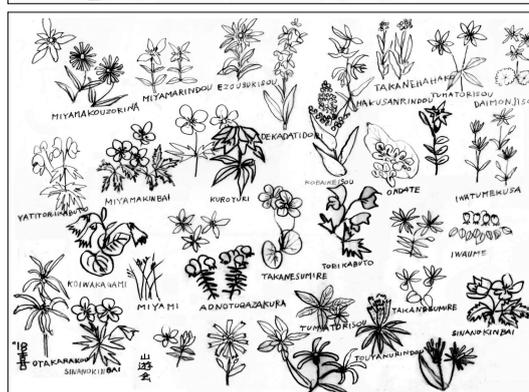
目に入るようになり名残の紅葉も散見された。最後のH9ポイントの分岐を危うく見落としそうになるが住宅街へ出て吾野宿の古い街並みを見ながら、15時少し前に吾野駅



車中の補講



大最後の急登吾野駅への階段

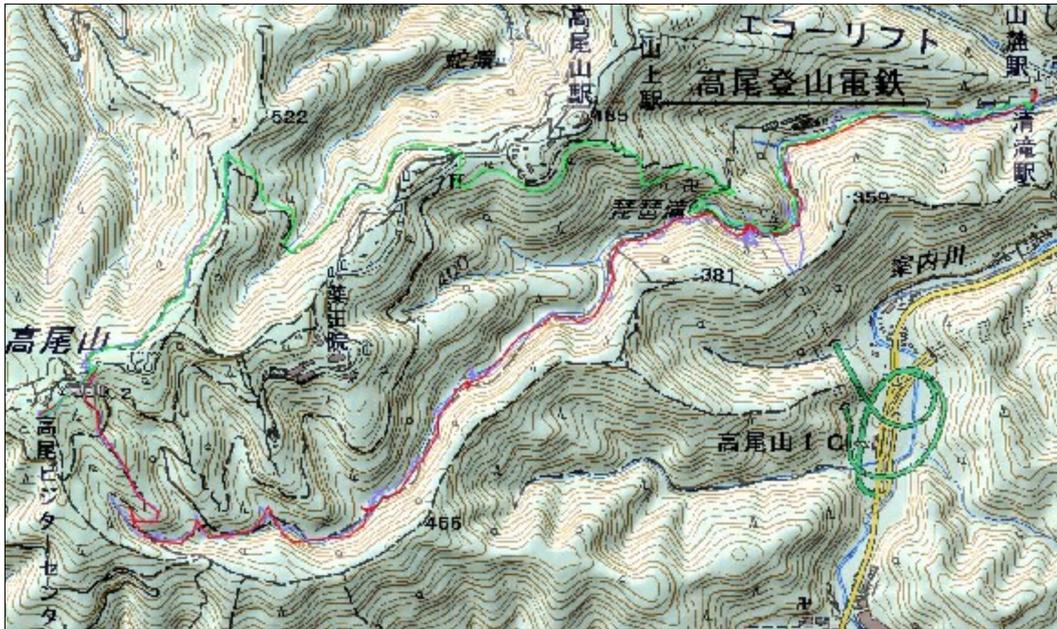


プワークの補講。残念ながら谷田さんは所用で帰られ、3名は山遊会御用達の中華料理店で反省会。昨年の読図山行の反省会場で小笠原さんをスカウトした話で大いに盛り上がった。

12月山行・高尾山清掃登山&忘年会

台風・大雨の後
大量のゴミに混じり大物が

古閑 栄子・染谷 美佐子



GPS軌跡図 上り6号路:紫-ガーミンGPS 赤=スマホGPS 下り:緑=スマホGPS(ガーミンは下り4号路で電池切れ)

日程:2019年12月14日(土)

目的地:高尾山

コース <往路>

・A班:「稲荷山コース」

清滝駅前9:36発⇒旭稲荷⇒稲荷山展望台⇒12:10高尾山山頂

・B班:「6号路コース」

清滝駅前9:36発⇒琵琶滝手前テント拾集・保管(10:10~10:30)⇒10:35琵琶滝⇒11:30大山橋⇒11:50とび石⇒12:15高尾山山頂

<復路>

A・B班:「4号路~2号路~病院脇コース&琵琶滝コース」

高尾山山頂(昼食12:15~13:30)⇒13:40 4号路入口⇒14:30 2号路入口⇒15:20病院脇・琵琶滝分岐⇒15:30テント回収⇒15:40清滝駅倉庫(帰着)

参加者:渡辺、大西、武藤、松島、喜多、木村、辻橋、染谷、古閑、中臺(10名)

係り:中臺

記録:文 A班「稲荷山コース」/古閑 B班「6号路コース」/染谷 GPS/渡辺

写真/辻橋・中臺

12月は、山遊会恒例の高尾山のゴミ拾い山行だ。9時30分ケーブルカーの清滝駅に集合。清滝駅長さんにご挨拶。事前に連絡はしてあるが、改めて今年も回収したゴミの一時保管と処分をお願いする。
A班(稲荷山コース)は喜多さん、古閑さん、木村さん、武藤さん。

B班(6号路コース)は大西さん、渡辺さん、中臺さん、染谷の各4名にグループ分け。辻橋さん、少し風邪気味の松島さんはケーブルカーで先行して山頂での場所の昼食場所確保に向かう(染谷記)。
A班(稲荷山コース)山頂上 古閑記)
清滝駅で6号路組と別れ、我々4人(武藤さん、喜多さん、木村さん、古閑)は稲荷山コースへ出発。階段を登り始めて旭稲荷に着いた時にはもう喜多さんとは逸れてしまい、3人で行動を始めた。

山頂には沢山の登山者がシートを敷いて眠っていたがあまり目立ったゴミはなかった。無事3人は到着。だが喜多さんは着いて居られなかった。暫くして一丁平へ散策に行っていた辻橋さんが戻られ、喜多さんは「ゴミを沢山拾ったので遅くなる」との情報を受け、先着3人でどこにそんなにゴミがあったのかしらねっと。

一般的な登山道なので登山客も多い中、ゴミを探しながらゆっくり登る。だが、「ゴミらしきものは中々見つからない。登山道中央と左右の藪に分かれて探すもゴミらしき物は数か所にあっただけ。ゴミが無い事は良い事ではあるが、物足りなさを感じ3人で笑ってしまう。東屋の周辺も巻道と直登に分かれたが、見つかったのは鉛の包み紙。休まず進んで行くがゴミは無い。
途中、武藤さんが喜多さんを中心に配して下山してくる人に容姿を伝え消息を訪ねたが「NO」でした。案じながらも歩を進める。木の根が絡んだ所で登山者を除けた武藤さんがつまずいて膝を痛めてしま



6号路へ入って間もなく(すでにゴミ回収)



清滝駅出発してすぐにゴミ発見?

B班(6号路コース)頂上へ
 清滝駅倉庫 染合記

6号路コースの登山道には
 ほとんどゴミがないが、沢筋
 にはペットボトルや枝に絡まっ
 たビニールなど多くある。さ
 すが人気コースでハイカーが多いこと
 琵琶湖付近で大物を発見! (※答えは
 後で) 回収は帰路にすることにする。



6号路 沢筋を離れ



まだ景色を見る余裕が



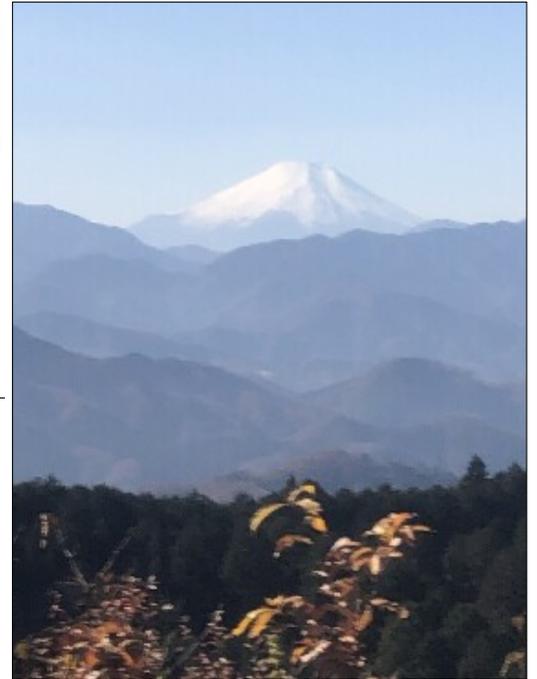
名残の紅葉



もうすぐ頂上 足取りは軽い?
 「あそこに
 光るものが・
 ・」と言っ
 ているだけ
 で、あとは
 精鋭のゴミ
 ヒロイ隊が
 ザイルをつ



頂上手前の難関 長い階段
 の影響で仮設の
 工事がなされて
 いた。
 申し訳ないと
 思いつつ、私は
 「あれペッ
 トボトルだ」



一丁平からの富士山 (写真:辻橋)



一休みで時間調整



背中に西日を浴び4号路へ

何か所か台風
 入る。
 私達は、あと30分はかかりそ
 うだ。重くなったゴミ袋をさ
 げ、人でごった返す山頂をぬ
 け、皆の待ついつもの所で、
 全員集合。



2号路を下る



やっぱり喜多さん!



なごりの紅葉で一息



休憩中も喜多さんは探す!

※大物の答えはテ
 ント一式(3〜
 4名用)でした。

落ちてしまったか
 らかな?

アイドポケットから
 のは、ザックのサ
 イドポケットから
 落ちてしまったか
 らかな?

ここで大まかに分
 別して駅員の方に
 引き渡す。ペット
 ボトルが多かった
 のは、ザックのサ
 イドポケットから
 落ちてしまったか
 らかな?

清滝駅のゴミ置き
 場前で集合する。
 途中で大物回収
 にむかう渡辺さん
 中臺さんと別れて

下山は4号路
 (吊り橋コース)
 で、所々で時間調
 整をしながら、そ
 れでもゴミを拾う
 ことは忘れずに、
 病院道コースの急
 斜面を下る。

その後、高尾駅のミライザカにて忘
 年会をひらき、今年の山行を締めくくっ
 た。

しに寒さを感じな
 い。しばらく寛い
 で13時30分に出
 発。



店から提供の魔王!



忘年会 代表のあいさつ



倉庫前で記念撮影 (収集したゴミは倉庫の中)



ヤブコウジ

1月山行・三浦富士

三浦半島で雪に震えた

武山山頂の昼食

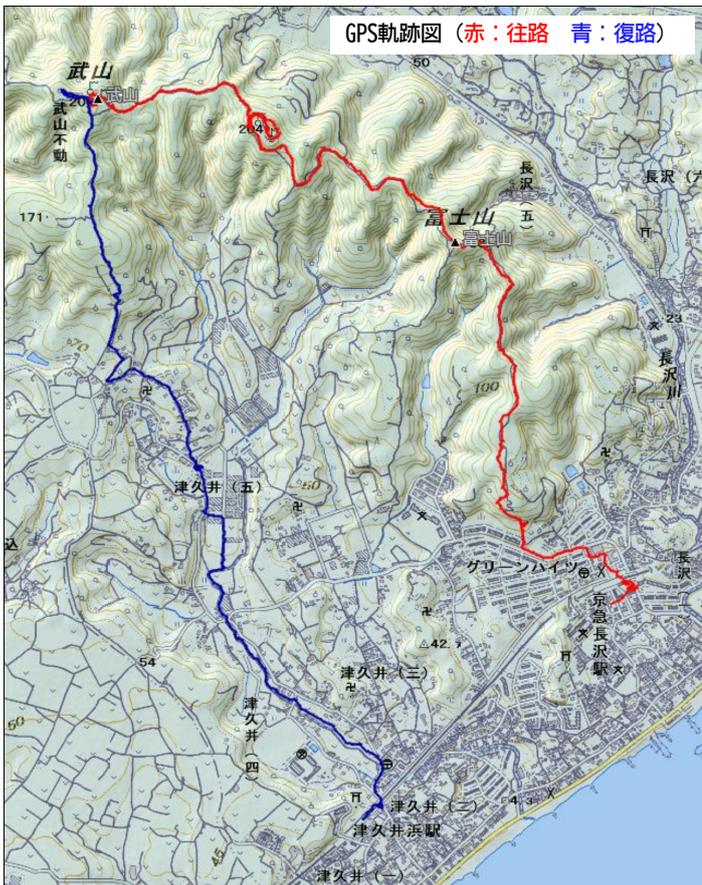
染谷 美佐子

早朝から雨が降っている。悪天候の場合、地元で詳しい山崎さんに提案を出してもうつもりでいたら、「風邪のため不参加」の連絡があった。雨は午後には止むとの予報なので、歩こうと決める。寒風が通りぬける京急長沢駅に7名が集合。

他にも同じようなグループがいて早々と雨の中を歩き始めている。私達も雨具をつけ出発する。車道を下り分程歩き山道にはいる。高い樹々の先端が強風で揺れている。そして時々風が吹き抜けていく。YRP野比駅の道と合流したところから、

急坂を登りきると三浦富士の山頂だ。正式名称は富士山と書いて「ふじやま」と読むらしい。浅間神社奥社の石碑がある。東京湾から房総半島が望めるはずが、雨にはばまれ景色が滲んでみえる。ここから先、武山まで雨

をしのげるところがないので、昼食は武山になりそうだ。木の階段を下り、中広い道を進むと



海岸線らしい様相の林



解放戦士碑前



登山口



雨支度で出発!



登り開始



YRP野比駅からの道と合流



倒木を乗り越えて



根こそぎの倒木



眺望はない



急登が始まる

日程：2020年1月18日(土)
目的地：三浦富士
コース：京浜急行長沢駅10:10発⇒解放戦士碑(10:22-23)⇒三浦富士(11:01-11)⇒砲台山/砲台跡(11:42-48)⇒武山分岐(11:52-55)⇒武山(昼食12:10-13:10)⇒武山不動(13:14-20)⇒津久井観光農園直売所(13:52-14:01)⇒14:27京浜急行津久井浜駅
参加者：大野、古閑、大西、中臺、渡辺、杉田(ゲスト)、染谷(10名)
係り：染谷
記録：文/染谷 GPSデータ/渡辺 写真/渡辺・中臺



富士山山頂での記念写真



倒れた道標うっすら「三浦富士」



急登終わり?



トキワツユクサ(外来植物)の群落



富士山山頂の祠

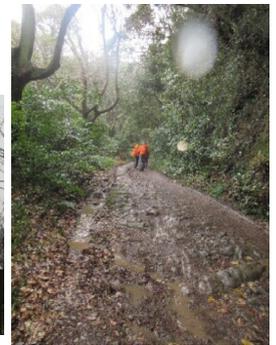
相模湾の展望がいい見晴台がある。こども雨には勝てない。紺碧の海の色を想像して通り過ぎる。ほぐさずして砲台山に着いた。晴れていれば昼食上保安庁の無線塔と、太平洋戦争中に



本日の目的地



東京湾・房総半島は望めず



広い道は川のような流れが



ランチタイム/体の中から温める



砲台跡



見晴台も・・・

き、やっと武山に到着。いつもは多く

海軍がつくった砲台跡がのこされていた。止むはすの雨は雪となり、



倒木が多い!!



武山不動院



曇?雪?

のハイカーで賑わうこのあたりも私達だけだった。展望台の下にはベンチとテーブルがあり、やっとランチタイムとなった。三浦半島の南端の山で初雪に遭遇するとは、なかなか経験できないことかも。ツツジの名所に雪が舞い降りるさ



早くもホトケノザが



立派な三浦ダイコン



キャベツ畑から望む武山



今年もよろしくお願ひします(一升屋前にて)

久里浜駅まで移動して、新年会場「一升屋」へ向かい、初雪の新年山行を締めくくる。

農道にでてからはミカン畑や民家も多くなり、津久井浜観光農園で一休み。観光客が多い直売所も今日は人がいない。三〇〇円の三浦大根の大きさに一同びっくり。イチゴのビニールハウスとキャベツ畑の間を案内板に導かれるように津久井浜駅へ向かう。雨粒の光るキャベツ畑は美しかった。京急の電車が見える。と津久井浜駅も近い。

まを見ながら、ビール、ひれ酒、ワインなどで五臓六腑を温めると一息ついた。その後、武山不動院に詣で、今なお止まない雪の中を滑りそうな階段を注意しながら下山する。あたりの森が風の通り道なのか、倒木が目立つ。

2月山行・高尾山

昔のように静かな

高尾山でリハビリ山行

松島 岳生

2月の例会山行の北八ツが中止になったけれど、欠番にはしたくない。そこで27日の例会で僕が予定していた高尾山個人山行が急遽浮上して、やれやれ例会山行にばけてしまった。5人が参

加。

10時に清滝からケーブルカーに乗る。高尾山駅から薬王院へ。薬王院の裏側

日程：2020年2月29日(土)
目的地：高尾山
コース：清滝駅⇒(ケーブルカー)⇒高尾山駅⇒薬王院⇒山頂
⇒4号路⇒2号路⇒ゴロゴロ坂⇒高尾病院⇒清滝駅
参加者：辻橋、染谷、古閑、中臺、松島(5名)
係り：松島
記録：文/松島 写真/中臺



かなりの急勾配



今日はケーブルカー



のんびり・ゆっくり



シュンラン



初めて気が付きました



静かな高尾山山頂



若者の間で集合写真



初タチツボスミレ



お初釜?お点前!寛政いたします



4号路から下山開始



自然と文明の交差点



4号路つり橋

ここも静か



もうすぐ清滝駅 紅梅のお出迎え

今回は僕のリハビリ山行にみなさんにお付き合い頂いた次第。茶を戴く。13時には4号路から下山を開始、浄心門から2号路、ゴロゴロ坂を経て高尾病院へ下山。あいにく高橋屋が休業、つたやで改めて昼食会。

富士山は見えないが、ぽかぽか陽気で運よくテーブルベンチが開いて早速、昼食の用意。めいめい持ち寄りの御馳走が並ぶ。初釜かな? 辻橋さんのお手前でお

を回り込んで、3号路との分岐に出る。3号路は改修工事のため3月中は通行止めとか。山頂には10時50分に着いた。途中で、石垣に可憐な空色のタチツボスミレがちらほら咲いている。今年初お目

見え。シュンランが二株春を待っている。春はそこまで来ているのだ。この国は、中国の春節以来のコロナウイルス感染防止の影響で中国からの観光客がぱったりといなくなり、おかげで昔の静か

な高尾山に戻ってきた。だが、この頃は代わりにコロナウイルス騒動の影響で全国的に臨時休校になって居場所のなくなった子供たちで山頂はあふれている。何はともあれ行き場のなくなった少年・少女たちが山に目覚めてくれれば誠にめでたいこと。

3月山行・日光沢温泉

たつぷり楽しんだ

奥鬼怒の雪見露天風呂

渡辺 真一



3月28日(土)

新型コロナウイルス

蔓延で外出自粛
が言われ始めた

日程：2020年3月28日(土)～3月29日(日)

目的地：奥鬼怒 日光沢温泉

コース：3月28日(土)

東武鉄道鬼怒川温泉駅バス停10:15発⇒(バス1:40 1,570円)⇒女夫淵バス停(昼食11:55～12:25)⇒(0:30)⇒12:55鬼怒の中将乙姫橋⇒(0:40)⇒13:35二つ岩橋⇒(0:55)⇒八丁の湯(14:30～14:40)⇒(0:15)⇒加仁湯(14:55～15:00)⇒(0:15)⇒15:15日光沢温泉

3月29日(日)

日光沢温泉8:40発⇒(0:50)⇒八丁の湯[日帰り入浴](9:30～10:30)⇒(1:50)⇒12:20鬼怒の中将乙姫橋⇒(0:35)⇒女夫淵バス停(昼食12:55～15:25)⇒バス(1:40)⇒17:05鬼怒川温泉駅バス停

参加者：辻橋、大野、中臺、渡辺(4名)

係り：渡辺

記録：文・GPS/渡辺 写真：渡辺、中臺



女夫淵バス停到着

なか、担当者としては中止の可能性も頭をよぎりはしたけれど、月例集會も懇親會も通常通りやったので、その勢いで実施を決心した。

当日は曇りのち雨の天気予報ながら時々晴れ間も

見え、ほぼ貸し切り状態の東武特急きぬ107号で、鬼怒川温泉駅10時に予定通り4名が集合。
東京ではすでに品切れが続いているマスクが鬼怒川温泉駅の売店で販売されているのを、中臺さんがめざとく見つけて早速購入。入荷したところだったと言いが、あつという間に人だかりができて瞬く間に売れていく。
女夫淵行き市バスは、予想外に多

くの乗客を乗せて10時15分出発。距離40km以上、1時間40分の長旅である。バスは鬼怒川温泉街の巨大なホテル群を横目に見ながら上流へ。
このバスは、4つのダムを通過する。川治温泉を過ぎて山間を上っていくと、まず初めに五十里ダムが現れる。五十里湖は鬼怒川本流ではなく、支流の男鹿川という野岩鉄道に沿った川にかかるといわれる。そのまた支流には湯西川



川治いを行く



鬼怒の中将乙姫橋



いきなりの急な階段



人が近づいても全く動じない単独猿



ヒメツチハンミョウが多く見られた



まだ朝晩は寒いのか

ダムに並んだ形で川治ダムがある。バスはその川治ダム堰堤の上を通過して上流に進み、青柳平でのトイレ休憩をはさみ、やや小ぶりの黒部ダムを通過し、さらに川俣ダムへと鬼怒川本流を遡っていく。川俣温泉の寂れた数件の宿を通過したら終点は近い。女夫淵バス停には11時55分に到着した。ここには以前、女夫淵温泉ホテルという、多くの露天風呂で有名な軒宿があったが、二〇一三年二月

ダムもあるが、これは今回見ることはできない。一方、本流の鬼怒川には、五十里



八丁の湯に到着



まもなく八丁の湯 残雪の中を行く



恐らく昨年の台風19号で倒れた樹木



加仁湯(ホテル?)の前で



奥鬼怒スーパー林道と加仁湯



ログハウスが立ち並ぶ八丁の湯



日光沢温泉到着



まさに爪痕



日光沢温泉近くで大規模な林道崩落



湯が黒い上の露天風呂



湯が白い下の露天風呂



日光沢温泉内湯



静かな夕食でした



お待ちかねの夕食



ちょっと渋い部屋



ボリュームたっぷりの朝食



起きたら大雪!

に起きた地震で廃業、解体撤去して跡形もなくなっていた。まだ源泉はあるはずだから、せめて日帰り温泉だけでも復活して欲しいと思うのだけれど、ここまでに通過したいいくつかの温泉街の衰退を見ると採算的に困難なのか。乗客のほとんどは加仁湯と八丁の湯の送迎バスに乗り込んで出発し、我々

は誰もいなくなった駐車場のうちの東屋で、手早く厚食を済ませて出発。ゲートの閉まった奥鬼怒スーパー林道からいきなり木の階段を登り、小さな峠を越えて再び沢に下ると長い橋があった。「鬼怒の中将姫橋」という名の新しくできた橋である。橋を渡ると猿が一匹、河原を歩いていた。その

後も猿を見かけたが群れではなく、いずれも単独であった。日陰には少し雪が残っていたが、このあと道にはほとんど雪がなかった。地図には川沿いに温泉マークが4箇所ばかり記載されている。確かにその辺りを通ると硫黄の匂いが微かに漂っていた。八丁の湯までの道程の約半分のところに二つ岩橋、砥の岩橋という橋が

と

連続している場所がある。それを過ぎると広い河原となり、護岸工事が大々的に行われていた。この膨大な量のコンクリートブロックを運ぶのに、どこから作業道を作ったのだろうか。八丁の湯は大きく変身していた。真新しいログハウスが何軒か建ち、ランプしかない昔の素朴な温泉宿のイメージは全く残っていなかった。それは加仁湯も同じで、むしろ加仁湯の三階建ビルディングへの変身の方がさらに大

きいかもしれない。八丁の湯から加仁湯温泉、日光沢温泉までは林道歩きとなり、目的地が近づいたことでペースも上がり、各々15分の道のりで15時15分に日光沢温泉に到着した。早速、部屋に案内されくつろいだ後、内湯と露天風呂を楽しんだ。食事の時に集まった顔ぶれを見ると、夫婦と子ども2人と祖母の三世代5人家族、カップル1組、単独が2組、そして我々だった。食後、女性陣は七時〜九時の女性専用となった露天風呂を楽しんだらしい。ただちやうと雨が降り出したところで、桶を頭に被って入ったとか。

3月20日(日)
 雨は夜遅くまで降り続いており、部屋も比較的暖かかったので朝起きたときの積雪には少々驚いた。いつ雪に変わったのか気付かなかったが、結構な



八丁の湯 露天風呂



下山開始



雪支度で記念撮影



久しぶりのアイゼンで



八丁の湯を出発



八丁の湯で改めて雪支度

積雪量だった。朝食の間も、出かけるときも雪はしんと降り続いてきた。新雪がとてもし深そうだったのでオロソロシの滝方面に行くのは断念し、下山することになった。50分程かかって八丁の湯に到着、日帰り入浴をする



雪をまとった 鬼怒の中將乙姫橋



思わぬ雪景色を堪能



雪の二つ岩橋



手すりもこの通り

八丁の湯はちょうどチェックアウトの時間だったので、



転車台の蒸気機関車「大樹」



車中反省会

上り電車が来るまで駅前
 で反省会をと店を探したが、どの店もやっておらず諦めて駅弁と酒を買い込み、特急車内の反省会となった。

川治ダム湖畔から

私は、ほぼ40年前に暮れから正月にかけて、この八丁の湯に逗留したことがある。この「雪見の湯」で滝を眺めながら、持ち込んだ一升瓶で仲間達と雪見酒をやったのを思い出した。

鬼怒川温泉駅にはSL専用の転車台があり、ちょうどSLが到着し転車台で方向転換をするところであった。SLは北海道から、また、転車台は広島県の三次駅から移設されたものだとか。滅多に見られないものなので、SLが方向を180度転換する様子を動画を撮りながら見物した。



女夫漕駐停車場に到着

楠花の湯には屋根があり、ゆっくりできたが、女性専用風呂とつながる一番広い混浴露天風呂(滝見の湯)はぬるくて長くは入っていられた。私、



駐車場の雪景色

宿泊客と入れ替わって静かな露天風呂を楽しめた。ただし、雪の降りしきる中の入浴で頭に被る桶もなく、少々寒い思いをしたけれど。混浴露天風呂は3箇所あり(別に女性専用が1箇所)、脱衣所の直ぐ横にあるのが雪見の湯で、ここが創業当時から野天風呂だそう。一番高い場所にある滝の横の露天風呂(石

八丁の湯を出て、日光沢で一緒だった。5人家族と前後しながら、雪道を歩く。行きと違って大きく異なる雪景色は新鮮で、見応えがあった。
 八丁の湯から2時間半足らずで女夫漕駐停車場に到着。わずかな差で厚過ぎのバスには間に合わなかったけれど、無料休憩所でゆっくりと昼食がとれた。ただ、暖房はなく最終バスの時刻までさらに2時間半、最初は良かったものの徐々に寒くなり震えた。
 ようやくやってきたバスは、やはり八丁の湯と加仁湯から来た客で結構埋まり、車窓からの雪景色を堪能しながら鬼怒川温泉駅に到着。

月例集会

本会での山行報告、山行計画の随時、山遊会だより本文と重複するため複製してあります。集会の会場は各その山遊会です。

◆2019年◆

4月集会

日時 4月25日(木) 19:30~20:00
出席者 渡辺 大西 辻橋 石見 山崎 武藤
土由 染谷 松島 中臺 小池 江村 小笠原 計13名
記録 染谷

○4月定例山行「秩父・奥山(美の山公園)お見山行」(係 辻橋)
・目的の一つであったイカリソウは咲いておらず、桜も時期が早かった。

5月集会

日時 5月23日(木) 18:45~19:30
出席者 渡辺 大西 武藤 小池 染谷 中臺 計6名
記録 染谷

○山行報告 5月定例山行「大菩薩」小貫の縦走 (係 松島) 8名参加 初晴 12時塩釜(集合)・タナシで「福のやん」庄へ向かい、唐松尾根をのぼり大菩薩を往復して大菩薩の「介山庄」に投宿 一日

6月集会

日時 6月27日(木) 18:45~19:30
出席者 渡辺 松島 大西 武藤 小池 木村 中臺 辻橋 計8名
記録 辻橋

○山行報告 6月定例山行「天城山」(係 渡辺) 計7名参加 初日は大気が悪雨 参加者7名の内4名は予定の河津七滝巡りをせず宿直り 3名予定のコースの一部を歩く。一日目は八ヶ池口→五郎平→万

7月集会

日時 7月25日(木) 18:45~19:30
出席者 渡辺 大西 武藤 小池 木村 中臺 辻橋 染谷 計8名
記録 染谷

○山行報告 7月定例山行「美ヶ原」(係 坂按) 計6名参加 心配した天候も直日でほぼ大雨降られなかった。美ヶ原は観化されているメーシがあつたが、道もよ整備され自然が残っている。曙→茶臼山→塩場→山本小屋→牛伏山(往復)。宿(岳の湯温泉・雲深荘)は料理が美味しく、送迎してもらい一回感謝。習字(中田城を観光後)「やぐら亭」で蕎麦を食へ帰京した(辻橋)。

8月集会

日時 8月22日(木) 18:45~19:30
出席者 渡辺 武藤 小池 木村 辻橋 計5名
記録 辻橋

○個人山行報告 定例集会的に、渡辺代表の木村さんと、過日体験した個人山行での出来事を報告。また提案があり、次の様報告があつた。【木村さん談】先日友人5人で、奥秩父(奥秩父)の奥秩父温泉(小貫山)へ大清水(尾瀬)のコースを歩いた。その折、2人のメンバーが途中から体調を崩し助しながらの山行となり、物見山へ着いたのが通常の倍近時間となった。その日に帰京は無理と判断して、家人にその連絡をする。その後の下り道もかなり急峻な箇所があり、動けなくなったメンバーの荷を担いで、なだめすかしながらの下山となり、途中でハイバック。朝6時に出発して大清水に最終的に着いたのは22時、16時間を費やした。携帯の電波が届かず家人との連絡が取れなくなり、心配した家人が警察に通報。遭難隊になってしまい、途中で捜索隊と行き会つたのが大清水帰還となってしまった。

福原サチ子さんへ

サチ子さんとは、同期入会と同時に付き合いが始まりました。同期会の頃にはあまり一緒に山行がななく、むしろ三水会での付き合いが続きました。私には真似のできない、おっとりとした上品な立ち振る舞いや話し方、そしてあらゆることに造詣が深く、教わることも多々ありましたので、よく「年下の姉よね」と申しておりました。

二〇二〇年、山遊会が発足してからは、会員の中澤さんの会社の伊豆高原にある寮の美味しい食事や温泉自当に、月例山行以外にも個人山行で数多く一緒にしましたね。

忘れられない思い出はサチさんが所有していた、千葉大原にある田舎屋を改造した別荘を自分たちの憩いの場にしたくて、手の付けられていなかった屋根裏を改装するために通った日々。毎回、作業後にサチさんの作る、鯛の浦で仕入れた、鯛料理にはじまり大原漁港の新鮮な魚介、裏の竹林から掘ったタケノコを庭の焚き火で焼いて食べたり、夜通し飲んで歌って・・・考えてみれば、あの頃は皆若かったですね。山遊会の青春時代だった気がいたします。

後年には、東北シリーズの七時雨山荘にも、大西さんの案内で通いました。まだまだ、一緒にできなかった旅が残りたままになりました。いつか機会が出来たらサチ子さんを思い出しながら歩いてみたいとおもいます。

(二〇一九年十月二十日) 逝去

合掌 辻橋



後年には、東北シリーズの七時雨山荘にも、大西さんの案内で通いました。まだまだ、一緒にできなかった旅が残りたままになりました。いつか機会が出来たらサチ子さんを思い出しながら歩いてみたいとおもいます。

二郎平→天城高原(尾瀬)のコースを、これももろもろ歩いた。
○その他 懇親会場として普通通っていた「辻番」が閉店になるので、次回から「つよ」として心配。早々と集会を終えて最後の紹興酒を呑み辻番へ出た。
ことになった。
8月集会
日時 8月22日(木) 18:45~19:30
出席者 渡辺 武藤 小池 木村 辻橋 計5名
記録 辻橋
○個人山行報告 定例集会的に、渡辺代表の木村さんと、過日体験した個人山行での出来事を報告。また提案があり、次の様報告があつた。【木村さん談】先日友人5人で、奥秩父(奥秩父)の奥秩父温泉(小貫山)へ大清水(尾瀬)のコースを歩いた。その折、2人のメンバーが途中から体調を崩し助しながらの山行となり、物見山へ着いたのが通常の倍近時間となった。その日に帰京は無理と判断して、家人にその連絡をする。その後の下り道もかなり急峻な箇所があり、動けなくなったメンバーの荷を担いで、なだめすかしながらの下山となり、途中でハイバック。朝6時に出発して大清水に最終的に着いたのは22時、16時間を費やした。携帯の電波が届かず家人との連絡が取れなくなり、心配した家人が警察に通報。遭難隊になってしまい、途中で捜索隊と行き会つたのが大清水帰還となってしまった。
○山行報告について 定例山行の留守番役を引き受けた時、なんらかの事故報告を受けた時の準備として、対処法が全くわからない、というのが現状なので、勉強会の早期実施を決定した。

2019年総会 4月25日(木)18:45~19:30

渡辺代表が議長として、出席者13名と委任状27名を確認し40名となり、会員数45名の2/3を充足し、総会の成立を宣した。

- ・1号議案 平成29年度事業報告:(渡辺代表)・・・(承認)
- ◇定例山行(日にち 目的山名 担当 参加者数)
- 2018年 4月14日(土) 高尾山薬王院・山遊会設立15周年記念昼食会 松島 12名
- 5月25日(金~26日(土)) 鹿倉山 小池 4名
- 6月9日(土) 日光・高山 中臺 7名(含ゲスト1名)
- 7月7日(土)~8日(日) 高峰山 染谷 6名
- 8月25日(土)~26日(日) 信越トレイル 保坂 8名
- 9月16日(日) 箱根 鷹巣山、浅間山、湯坂路 武藤 7名
- 10月13日(土)~14日(日) 愛鷹山(越前岳)、宝永山 渡辺 7名
- 11月10日(土) 奥武蔵アルプス・天覚山(読図) 大西 9名
- 12月16日(土) 高尾山清掃登山 中臺 7名
- 2019年 1月19日(土) 日和田山~物見山 辻橋 9名
- 2月24日(土) 入笠山 松島 9名
- 3月2日(土)~3日(日) 西吾妻山 片山 7名
- 2018年4月~2019年3月:実施12回、中止0回、参加者数:92名(年間平均7.7名)前年+5名

- ◇その他
- ・2018年4月26日 総会にて「山遊会だより28号」発行、配布
- ・会員動向
- 入会:2018年4月=柳田さん、6月=加藤さん、7月=小松さん、9月=谷田さん、10月=大野さん、2019年2月=小笠原さん、3月=木村さん(7名)
- 退会:2018年5月=藤山さん、12月谷田さん(ご家族ケアの為)、2019年3月=若槻さん(規約に則り)、成瀬夫妻・島田さん(ご本人からの申告)(6名)

- ・2号議案 2018年度(平成30年度)会計報告と2019年度(平成31年度)予算案・・・(承認)
- 会計担当山崎さんより報告
- ・山遊会2018年度(平成30年度)会計報告書 2018年4月1日~2019年3月31日・・・(別紙)
- ・4月1日に会計監査を行い適正に処理されていることを確認いたしました(辻橋)
- ・2019年度は会計は厳しい状況である。15周年記念手拭在庫106枚(紫:38、緑:23、紺:45)の拡販を願いたい。

- ・3号議案 2019年度(平成30年度)活動計画案・・・(承認)
- 山行係、辻橋副代表より活動予定説明
- ◇定例山行(日にち、目的山名、担当)

- 2019年
- 【4月】4/6(土)、美の山、辻橋
- 【5月】5/11(土)~12(日)、大菩薩、松島
- 【6月】6/15(土)~16(日)、天城山、渡辺
- 【7月】7/13(土)~14(日)、美ヶ原、保坂
- 【8月】8/24(土)、御岳山、武藤
- 【9月】9/14(土)、大室山、渡辺
- 【10月】10/26(土)、赤ぼっこ、小池
- 【11月】11/23(土)、読図山行(目的地未定)、大西
- 【12月】12/14(土)、清掃忘年山行(高尾山予定)、中臺
- 2020年
- 【1月】日程未定、三浦富士、染谷
- 【2月】日程未定、西吾妻山、片山
- 【3月】日程未定、北ハケ岳(詳細目的地未定)、松島

- ◇その他
- ・読図は勉強会が必要。
- ・清掃登山は目的地、要再検討。
- ・2019年4月25日 「山遊会だより29号」100部発行・・・総会にて配布
- 以前はお店・山グッズ紹介や新人紹介等の囲み記事があった。紙面構成の都合もあるが掲載再検討。前年150部作成で残部数あり

- ・4号議案 平成29年度世話役人事:(渡辺代表)・・・(承認)
- 代表 渡辺真一
- 副代表 大西 攻、辻橋明子
- 会計・庶務 山崎浩子、染谷美佐子
- 監査 辻橋明子
- 名簿管理担当者 保坂恵子
- イベント係 辻橋明子、松島岳生
- 記録係 染谷美佐子、辻橋明子
- 山行係 辻橋明子、江村美津子
- ホームページ担当 中臺文夫、渡辺真一(下線はメイン担当者)
- 会報担当(山遊会だより) 渡辺真一、染谷美佐子(下線はメイン担当者)
- 1号から4号議案まで異議なく承認され総会を閉会し、引き続き4月月例会を開催した。

成(カイトライ)の件 ・新会員が積極的に山行係を担って、原稿作成短縮を苦手意識を持たせないような原稿作成のカイトライを検討したい。 ・協議し、統一により個性も面白くなってほしい。カイトライ・ドットを作成する予定だ。

(2) 登山計画(自動入力) 山行計画書 山行報告書 山行個人情報 渡辺代表作成作成していただいている登山計画書や山行係が作成する山行計画書 山行報告書に個人情報が記載されているので取り扱いに注意

が必要。 ・係りが作成する計画書・報告書に個人情報を登録するメールアドレスを記載しないようにする。 ・渡辺代表が作成する登山計画書はラフォーレ配布を再検討する。

12月集会

日時 12月26日(土) 18:55~19:40

出席 渡辺、大西、辻橋、中臺、染谷、計5名

記録 染谷

○山行報告 12月定例山行 高尾山

「高尾山清掃登山」係 中臺 ・A稲荷山コース班 B 6号路コース班と昼食スルー確保班にわけ行動。 ・A班は喜多さん早い段階で帰宅してしまつた。B班は土が流れたのが古いゴミが多かつた。最大のゴミはマント一式を回収した。ザイルを持参したのは有効だった。 ・全員集合して予定していた場所へ昼食。昼食4号路→2号路→橋下コース下山。 【反省点】

①単独の行動は注意したい。 ②班分けの際、持参している装備でメンバーを考えたい。

③ピール袋はもっと厚手のものを用意のと辻橋 ④留養後<戸さんへの下山連絡(念)中臺、係り2名が望ましい。

○山行計画 3月定例山行(目黒沢(担当 渡辺) 3月14日(土)~15日(日)に定 4月以降定例山行予定

4月 花見山行(辻橋) ・5月 5/23 24 天城山(渡辺) ・6月 茅岳(係り未定) ・7月 場所未定(保坂・依頼) ・8月 沢登り(古閑・依頼) ・9月 石裂山(中臺) ・10月 清瀬(小)

池 ・11月 読図山行(大西) ・12月 清瀬山(中臺) 2021年 ・1月 場所未定(染谷) ・2月 場所 係未定 ・3月 場所 係未定

○その他 ザイルワーク勉強会 講師 大西 倉倉 智集(白) 18:30~18:45 開催 ロープ6mm約4mを各自持参 使い道の多いものから講義 ・12月の集会開催日(月末は)しこの第3週くらいが難しい(渡辺)

◆2020年◆

1月集会

日時 1月23日(土) 18:50~20:00
出席者 渡辺 大西 辻橋 染谷 柳田 木村 中臺 計7名
記録 染谷

○山行報告 1月定例山行「三浦山」(係 染谷) 1月18日(土) 京長沼駅10時集合、あじのの天候となが定通り...

2月集会

日時 2月27日(土) 18:45~19:50
出席者 渡辺 大西 松島 辻橋 染谷 中臺 計6名
記録 染谷

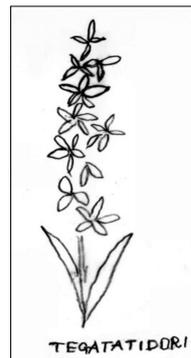
山行報告 (1) 1月個人山行 「秀原・志木・志木」 1月26日(日) 27日(月) 参加者 山崎 中村 辻橋 江

村 染谷 中臺 6名 ・楽しんでいただけたが、周辺の山々の景色が素晴らしい。...

3月集会
日時 3月26日(土) 18:45~19:20
出席者 渡辺 松島 辻橋 染谷 大野 中臺 計6名
記録 染谷

した。↓2月29日(土) 高尾山に松島 辻橋 古閑 染谷 中臺の5名が参加...

のため中止を法定
○その他 ・ザイルワーク勉強会 講師 大西 染谷 出席のため今回はなし。



登山計画書・山行報告書作成ガイドライン【案】

登山計画書・山行報告書作成のためのガイドライン案を作成いたしました。あくまで目安ですので、各位が山行・報告の係を担当された際の参考にしていただければと思います。

☆ 登山計画書 (山行計画書)

定例山行・個人山行等の係や担当者が、他のメンバーに山行予定・内容を告知するための書類、ホームページに掲載(「山行計画書」の名称は参加者決定後、家族用・登山ポスト投函用・留守番役用等に作成する書類とする)。

- 必須項目
① 日程
② 目的地
③ 集合時間・場所
④ コース 移動は「⇒」で表記
⑤ 宿泊の場合は宿泊所に関する情報
⑥ 装備及び携帯品
⑦ 担当者名
⑧ 申込締め切り期日
⑨ 留守番役氏名
● 任意項目
・ 集合に関するアクセス

☆ 山行報告書

山行企画書の内容を基礎とし以下の項目を助記した、実施山行の報告書。ホームページに掲載。報告書の作成は参加者のうち担当者の指名した者、もしくは担当者本人。

- 必須項目
① 山行当日の実際のコースと、可能であればコースタイム
② 参加者名と人数
③ 記録係名(記録文章・GPS・写真)
④ 山行記録文(定型フォームはよいので自由)